

平成29年度

福島県産業廃棄物排出処理状況確認調査業務報告書

(平成28年度実績)

平成30年3月

福 島 県

目 次

第1章 調査の概要	1
1.1 調査の目的	1
1.2 調査の内容	1
1.3 各報告書の報告状況	2
1.4 各種報告書のデータ整備及び産業廃棄物の排出・処理状況の整理	3
1.5 調査に関する基本的な事項	6
第2章 調査結果の概略	9
2.1 平成28年度の産業廃棄物の排出状況	9
2.2 平成28年度の産業廃棄物の処理状況	12
2.3 廃棄物処理計画で定めた目標値に対する達成状況	15
2.4 地区別の産業廃棄物の処理状況	16
2.5 福島県廃棄物処理計画進行管理システムの更新結果	17
2.6 東北地方太平洋沖地震及び大津波による産業廃棄物の排出量の経年変化	20
第3章 産業廃棄物処理業者の実績	23
3.1 県内の産業廃棄物処理業者の処分実績の概要	23
3.2 産業廃棄物処理業者の中間処理	27
3.3 県内の産業廃棄物処理業者の最終処分	33
第4章 産業廃棄物多量排出事業者の排出・処理実績	39
4.1 多量排出事業者等における報告状況	39
4.2 産業廃棄物多量排出事業者等の属性	41
第5章 産業廃棄物の処理状況	44
5.1 再生利用状況	44
5.2 最終処分の状況	47
第6章 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の解析	50
6.1 データ整備等の内容	50
6.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況	51
6.3 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストの作成	53
参考データ	55

第1章 調査の概要

1.1 調査の目的

本調査は、平成28年度実績として産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書を基に、福島県における平成28年度の産業廃棄物の排出等実態を推計し、平成28年度の排出・処理を解析することにより、県内の産業廃棄物の排出抑制及び適正処理の促進に活用することを目的とした。

1.2 調査の内容

1 報告書データの電子化及びデータの整理

平成28年度実績として産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書のデータ（郡山市、いわき市分を含む。）の電子化を行った。

電子化された各書式の記入内容のチェック、各様式間における整合性のチェックを行い、記入不備等のデータの整備を行った。

2 産業廃棄物の物流情報の整理、分析

1.2.1のデータを基に、平成28年度における福島県の産業廃棄物の排出及び処理情報（県外からの移入、県外への移出も含む）を整理、分析を行った。

3 産業廃棄物の排出・処理量の推計及び廃棄物処理計画の進行管理状況の分析

1.2.1の結果等から、平成28年度の産業廃棄物の排出・処理量の推計を行うとともに、推計結果と福島県廃棄物処理計画（平成27年3月）で定めた目標値の達成状況やその分析を行い、計画の進捗状況のとりまとめを行った。

4 最終処分場残余年数の推定

1.2.1のデータ及び過去の同データを基に、県内の最終処分場残余年数を推計した。

5 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の電子化及び集計解析

排出事業者から提出された平成28年度の産業廃棄物管理票交付状況報告書及び電子マネーフレスト登録等状況報告書を基に、排出事業者の台帳の作成及び廃棄物の排出・処理状況の集計・解析を実施した。

6 資源化状況の解析

1.2.1のデータを基に、廃棄物種類ごとに資源化用途及び利用先業種(素材産業等)を整理し、資源化推進施策となる基礎情報を作成した。

7 汚染廃棄物の処理・処理状況等の把握

1.2.1のデータを基に、放射性物質に汚染された廃棄物の発生状況、発生量、保管量、処分

量等の現状等を把握、集計し、福島県廃棄物処理計画進行管理システムに登録した。

8 「福島県廃棄物処理計画進行管理システム」の更新等

1.2.1 のデータを基に、現行の「福島県廃棄物処理計画進行管理システム」のデータを更新するとともに、1.2.2、1.2.3 の分析等がシステム上で行えるよう分析ツールを更新した。

1.3 各報告書の報告状況

平成 28 年度実績として産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書（郡山市、いわき市分を含む。）の報告状況は、表 1-1 のとおりである。

産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書は、処分業者及び収集運搬業 2,711 件、排出事業者（多量（指定）排出事業者・施設設置事業者）371 件となっている。

また、捕捉調査として実施した鉱業からの報告は、13 件となっている。

表 1-1 報告者属性別・所管別の報告数、報告状況

	処分業者及び収集運搬業者		多量排出事業者等・施設設置者		鉱業	
	報告数	うち電子報告数	報告数	うち電子報告数	報告数	うち電子報告数
福島県	2,470	999	276	187	8	3
郡山市	52	29	38	28	0	0
いわき市	189	71	57	45	5	2
計	2,711	1,099	371	260	13	5

注)表中の「電子報告数」とは、報告書を電子メール及びその他電子媒体で提出されたものである。

1.4 各種報告書のデータ整備及び産業廃棄物の排出・処理状況の整理

1 産業廃棄物処理業者の報告書の整理

(1) 物流情報の整理

平成 28 年度実績として提出された産業廃棄物処理業者の実績報告書の情報について、廃棄物の種類、量、委託者（排出事業者）及び所在地、処分業者名及び処分方法、処分先所在地等を整理した。

更に、排出事業者及び所在地と処分業者及び所在地の関係から、表 1-2 に示す物流コードに基づきとりまとめた。

なお、委託者の排出事業者と業者（中間処理残さ物を委託）の識別は、「委託者の名称と所在地」と「県内の中間処理業者と処理施設所在地」のマッチングを行った。

表 1-2 物流フローの整理内容

情報ソース	流れ	処分区分	物流コード(委託者)			備考
			事業者	業者	自社	
処分業者の報告	県内→県内	中間	A	ア	サ	
	県内→県内	最終	B	イ	シ	
	県外→県内	中間	C	ウ		
	県外→県内	最終	D	エ		
収集運搬業者の報告	県内→県外	中間	E	カ	ソ	
	県内→県外	最終	F	キ	タ	
	県内→県内	中間	Q	R		A、アとの重複情報のため集計しない
	県内→県内	最終	S	T		B、イとの重複情報のため集計しない
	県外→県内	中間	U	V		C、ウとの重複情報のため集計しない
	県外→県内	最終	W	X		D、エとの重複情報のため集計しない

(2) 排出事業者の産業分類（業種）の整備

(1)の物流情報で整理した事業者（産業廃棄物排出事業者）及び自社分については、既存の各種事業所名簿等を用いて、業種コードを整備した。

2 排出事業者の産業分類（業種）の整備

1.4.1 の物流情報で整理した事業者（産業廃棄物排出事業者）及び自社分については、既存の各種事業所名簿等を用いて、業種コードを整備した。

3 事業者の報告書の整備

平成 28 年度の実績として提出された、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）に基づく多量排出事業者の実績報告及び福島県産業廃棄物等の処理の適正化に関する条例（以下、「適正化条例」という。）に基づく指定排出事業者の実績報告の情報は、事業者の業種、廃棄物の種類、量、処分方法等を整備した。

4 産業廃棄物の排出量・処理量の推計

産業廃棄物の発生量及び処理量は、産業廃棄物排出事業者からの発生量と、自社処理量及び委託処理量で構成される。

(1) 委託処理の状況

産業廃棄物処理業者の受託処理実績から把握した。

(2) 自社処理の状況

自社で完結（委託に回らない）する処理は、売却又は自社利用、自社埋立である。これらの処理を行う事業者の大部分は、廃棄物処理法に基づく多量排出事業者及び適正化条例に基づく指定排出事業者であると仮定すると、それらの排出事業者からの報告データで推計することができる。推計方法の概略は、図 1-1 のとおり。

なお、(1)及び(2)情報から把握できない要因を整理し、捕捉調査を実施した。

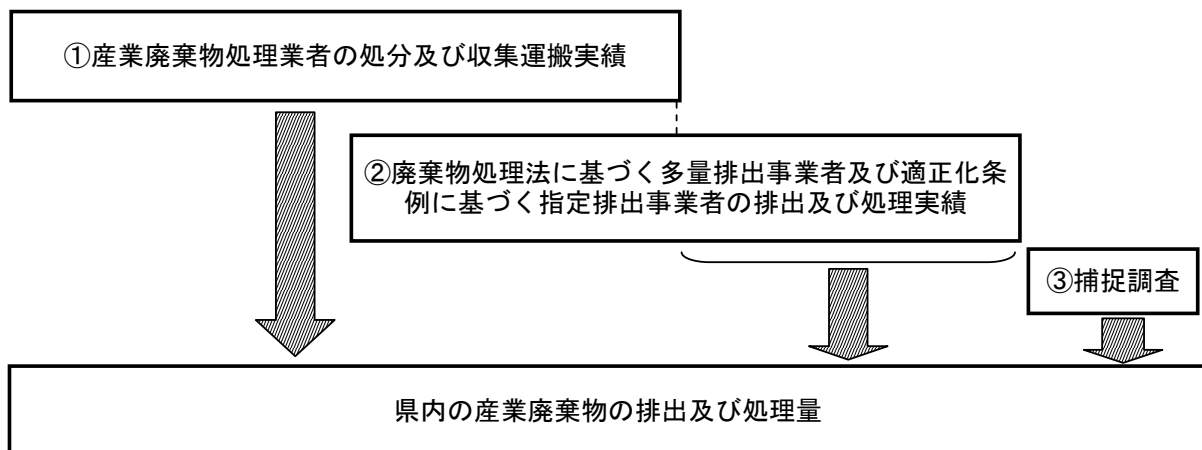


図 1-1 産業廃棄物の排出・処理量の推計方法の概略

① 産業廃棄物処理業者の処分及び収集運搬実績

排出事業者から排出された産業廃棄物のうち、県内又は県外の間処理又は最終処分業者による産業廃棄物の処理実績から、委託者（排出事業者）を整理し、処理フローを作成した。

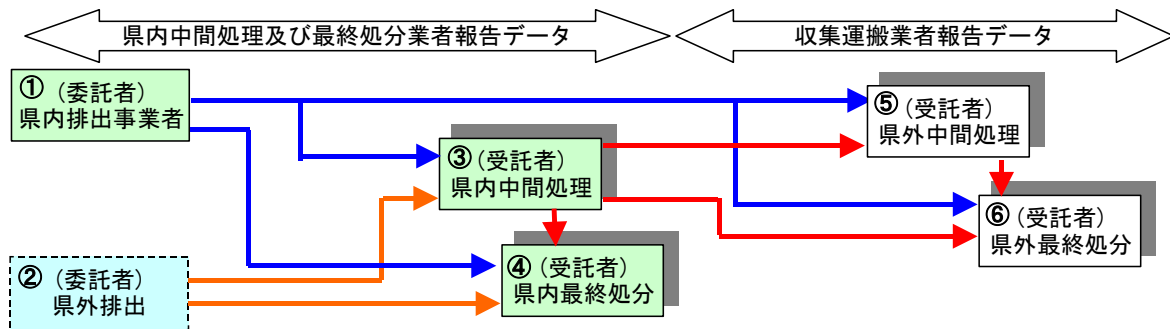


図 1-2 処分実績及び収集運搬実績データからの処理フロー作成概念図

② 排出事業者の排出及び処理実績

廃棄物処理法に基づく多量排出事業者及び適正化条例に基づく指定排出事業者より排出された産業廃棄物のうち、排出事業者による自己処理で処理が完結している自己減量化量、自己再生利用量、自己埋立処分量について、処理フローを作成した。

③ 捕捉調査

①、②の情報から十分に把握できない、鉱業からの汚泥（砂利等の採取事業所内で脱水処理され現場内再利用等が行われているもの等）については、アンケート調査を実施し情報を補完した。

1.5 調査に関する基本的な事項

1 地区区分

本調査における本県の地区区分は、表 1-3 に示すとおりとした。

表 1-3 地区区分

	地区名	構成市町村
T1	県北地区	福島市、二本松市、伊達市、本宮市 伊達郡（桑折町、国見町、川俣町） 安達郡（大玉村）
T2	県中地区	須賀川市、田村市 岩瀬郡（鏡石町、天栄村） 石川郡（石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町） 田村郡（三春町、小野町）
T3	県南地区	白河市 西白河郡（西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町） 東白川郡（棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村）
T4	会津地区	会津若松市、喜多方市 耶麻郡（猪苗代町、北塩原村、西会津町、磐梯町） 河沼郡（会津坂下町、湯川村、柳津町） 大沼郡（会津美里町、三島町、金山町、昭和村）
T5	南会津地区	南会津郡（南会津町、下郷町、檜枝岐村、只見町）
T6	相双地区	相馬市、南相馬市 双葉郡（広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村） 相馬郡（新地町、飯館村）
TA	郡山市	郡山市
TB	いわき市	いわき市

2 調査対象産業廃棄物

調査対象産業廃棄物は、廃棄物処理法及び同法施行令に定める次の産業廃棄物とした。

①燃え殻、②汚泥、③廃油、④廃酸、⑤廃アルカリ、⑥廃プラスチック類、⑦紙くず、⑧木くず、⑨繊維くず、⑩動植物性残さ、⑪動物系固形不要物、⑫ゴムくず、⑬金属くず、⑭ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず〔注、本報告書における図表では「ガラス陶磁器くず」と略した〕⑮鉱さい、⑯がれき類、⑰ばいじん、⑱動物のふん尿、⑲動物の死体、⑳産業廃棄物を処分するために処理したもの〔注、本報告書における図表では「13号廃棄物」と略した〕
※上記以外の種類に分類できない廃棄物は、「その他産業廃棄物」とした。

また、次に示す有償物、廃棄物等については下記の取り扱いとした。

ア 有償で売却されるものであっても今後の社会状況の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるものについては、産業廃棄物として今回の調査対象に含めた。（例 金属スクラップ及び火力発電所から発生する脱硫石膏等）

イ 紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物系固形不要物、動物のふん尿、動物の死体が産業廃棄物に該当する要件が、廃棄物処理法で、排出事業者の業種が指定されているため、指定された業種以外の事業所から発生した紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物系固形不要物、動物のふん尿、動物の死体については、原則として事業系一般廃棄物とし、調査対象から除外した。

ウ 酸性又はアルカリ性を呈する廃水を公共用水域へ放流することを目的として事業所で中和処理を行っている場合には、当該廃水を除外し、中和処理後に生じた汚泥（沈でん物）を発生量とした。

エ 廃棄物を自己焼却処理する場合は、燃え殻等の発生量ではなく焼却処理前の廃棄物を発生量とした。

3 産業廃棄物の種類の区分

中間処理により廃棄物の種類が変化する場合、本調査では変化後の種類で記載した場合には、（処分時点）又は（再生利用時点）と記載した。

例 木くず→（焼却）→燃え殻（中間処理前の種類及び中間処理方法から推定）
（最終処分量の解析の際に、燃え殻（処分時点）と記載。）

4 調査対象業種

調査対象業種は、日本標準産業分類（平成 25 年 10 月改訂、総務省）に記載されている区分を基本にして、表 1-4 のとおりとした。なお、本報告書では、業種の名称を一部省略して用いた。

表 1-4 調査対象業種

日本標準産業分類		略称
A	農業，林業 農業 林業	農業・林業 農業 林業
B	漁業	漁業
C	鉱業，採石業，砂利採取業	鉱業
D	建設業	建設業
E	製造業 食料品製造業 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業 印刷・同関連業 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業 ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業 はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業 電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 輸送用機械器具製造業 その他の製造業	製造業 食料品 飲料・飼料 繊維 木材 家具 パルプ・紙 印刷 化学 石油・石炭 プラスチック ゴム 皮革 窯業・土石 鉄鋼 非鉄金属 金属 はん用機器 生産用機器 業務用機器 電子部品 電気機器 情報通信機器 輸送機器 その他製造業
F	電気・ガス・熱供給・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 工業用水道業 下水道業	電気・ガス・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 工業用水道業 下水道業
G	情報通信業	情報通信業
H	運輸業，郵便業	運輸・郵便業
I	卸売業，小売業	卸・小売業
J	金融業，保険業	金融・保険業
K	不動産業，物品賃貸業	不動産業・物品賃貸業
L	学術研究，専門・技術サービス業	専門サービス業
M	宿泊業，飲食サービス業	宿泊業・飲食サービス業
N	生活関連サービス業，娯楽業	生活サービス業
O	教育，学習支援業	教育・学習支援業
P	医療，福祉	医療・福祉業
Q	複合サービス業	複合サービス業
R	サービス業	サービス業
S	公務	公務

第2章 調査結果の概略

2.1 平成28年度の産業廃棄物の排出状況

排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の排出量は、図2-1～図2-2、表2-1のとおりである。

平成28年度における産業廃棄物の排出量7,332千トン業種別にみると、製造業が2,566千トンで最も多く、次いで、電気・ガス・水道業が2,369千トン、建設業が2,019千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、汚泥が3,313千トンで最も多く、次いで、がれき類が1,675千トン、ばいじんが1,403千トンとなっている。

各産業廃棄物の主な排出元となる業種は、汚泥は製造業及び電気・ガス・水道業、がれき類は建設業、ばいじんは電気・ガス・水道業となっている。

東日本大震災発生前（平成18年度～平成22年度）において、県内の産業廃棄物の排出量は、減少傾向を示していた。

平成23年度の排出量は、東日本大震災の影響により、復旧・復興工事に伴うがれき類の排出量が増加したものの、石炭火力発電所の稼働停止によりばいじんの排出量が減少したこと、下水道業からの汚泥の排出量が減少したことにより、平成22年度と比較して大幅な減少となった。

平成24年度～平成27年度においては、石炭火力発電所の稼働再開によりばいじんの排出量が増加し、また、復旧・復興工事により建設業の排出量が増加したため、震災発生前と同程度まで排出量が増加した。

平成28年度の排出量は、近年で最も少なくなっており、主要な業種と種類は全て減少している。産業廃棄物が大量に発生する解体系の工事は減少傾向にあり、また大手事業所の汚泥やばいじんの排出量の減少が影響している。

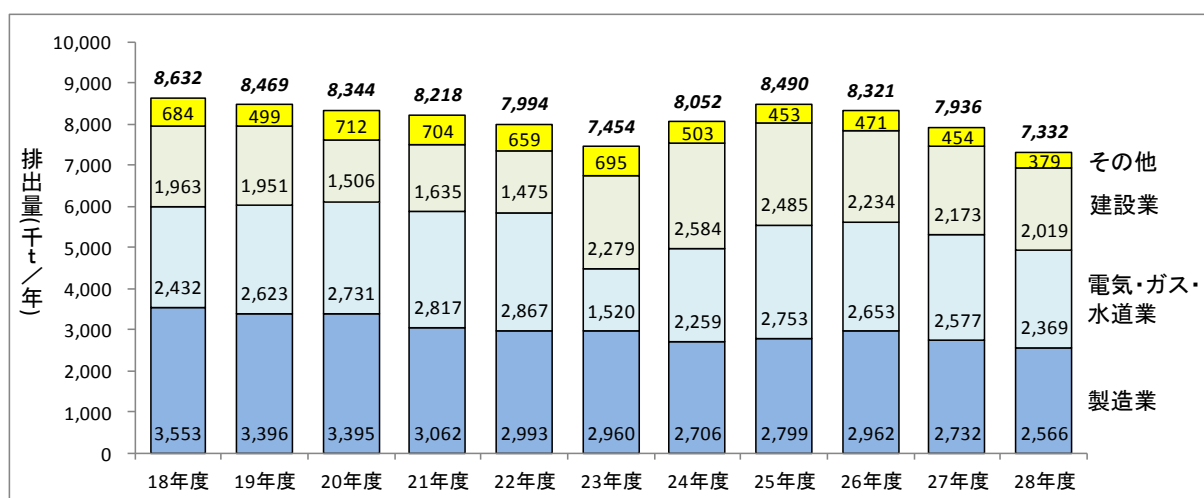


図2-1 排出事業者の業種別産業廃棄物排出量の推移

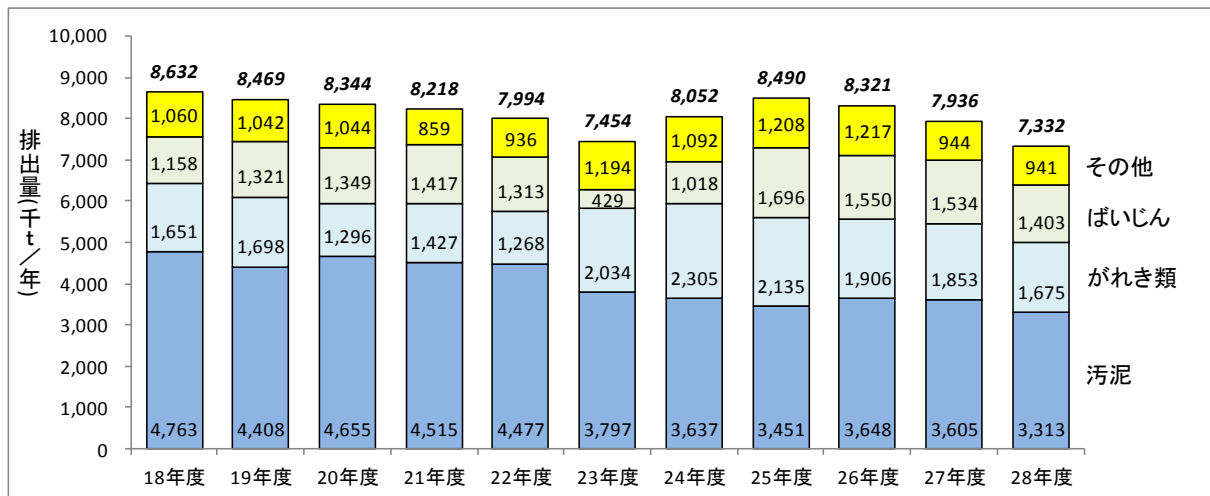


図 2-2 産業廃棄物の種類別排出量の推移

表 2-1 排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の排出量

(単位：千t/年)

業種 種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・郵便業	卸・小売業	医療・福祉業	サービス業	その他の業種
合計	7,332 (100%)	197 (3%)	2,019 (28%)	2,566 (35%)	2,369 (32%)	11 (0%)	8 (0%)	10 (0%)	128 (2%)	24 (0%)
燃え殻	142 (2%)		7	6	127	0	0	0	2	0
汚泥	3,313 (45%)	197	75	2,155	836	0	1	4	37	8
廃油	34 (0%)		1	21	0	1	0	0	9	0
廃酸	23 (0%)		0	18	0		0	0	5	0
廃アルカリ	81 (1%)		1	67	0	0	0	0	13	0
廃プラスチック類	127 (2%)	0	30	67	0	1	3	1	23	1
紙くず	5 (0%)		3	2						0
木くず	168 (2%)		165	3		0	0	0	0	0
繊維くず	1 (0%)		1							
動植物性残さ	16 (0%)			16						
動物系固形不要物										
ゴムくず	0 (0%)			0			0			0
金属くず	27 (0%)		11	7	0	0	0	0	7	1
ガラス陶磁器くず	140 (2%)	0	32	67	7	6	2	0	19	5
鉱さい	137 (2%)		2	99	33	0	0		3	0
がれき類	1,675 (23%)		1,675	0			0		0	0
ばいじん	1,403 (19%)		0	36	1,365	1		0	0	0
動物のふん尿	7 (0%)									7
その他	33 (0%)	0	15	3	0	0	0	4	9	1

*表中の空欄は該当値がないもの、「0」表示は500 t/年未満のもの。以下の図表において同じ。

産業廃棄物の地区別排出量は、図 2-3、表 2-2 のとおりである。

排出量を地区別にみると、いわき市が 3,207 千トンで最も多く、次いで、相双地区が 1,797 千トン、以下、県北地区が 757 千トン、郡山市が 541 千トン、会津地区が 423 千トン、県南地区が 243 千トン、郡山市を除く県中地区が 239 千トン、南会津地区が 126 千トンとなっている。

いわき市は、製紙業や化学工業の大規模工場があり、汚泥の排出量が多くなっている。また、人口が多いため、下水道汚泥や建築・道路工事に伴うがれき類等の日常生活に密着した産業廃棄物も多くなっている。

相双地区は、石炭火力発電所から発生するばいじんの排出量が多くなっている。

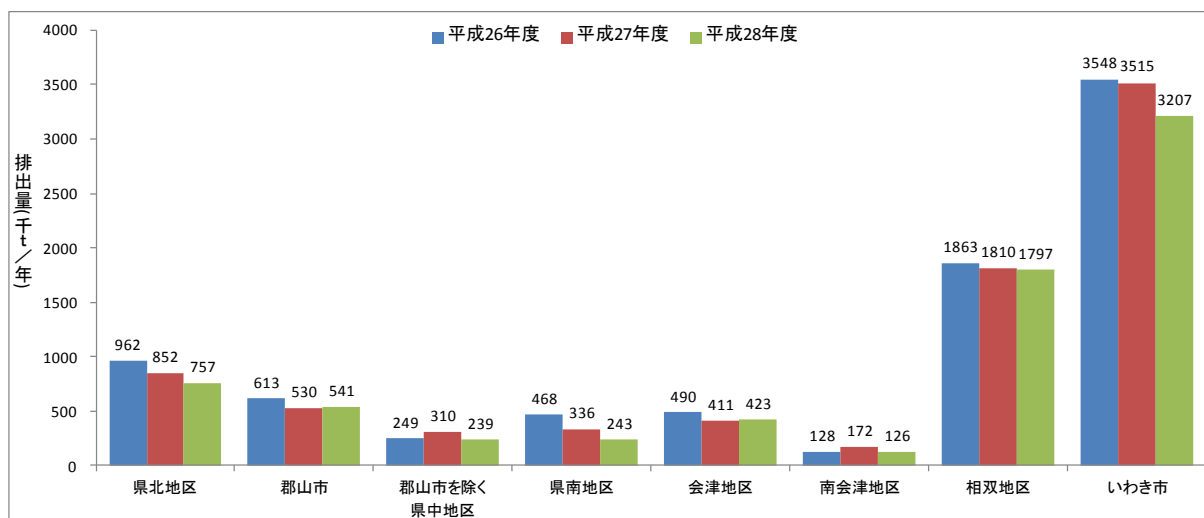


図 2-3 産業廃棄物の地区別排出量の推移

表 2-2 産業廃棄物の地区別排出量

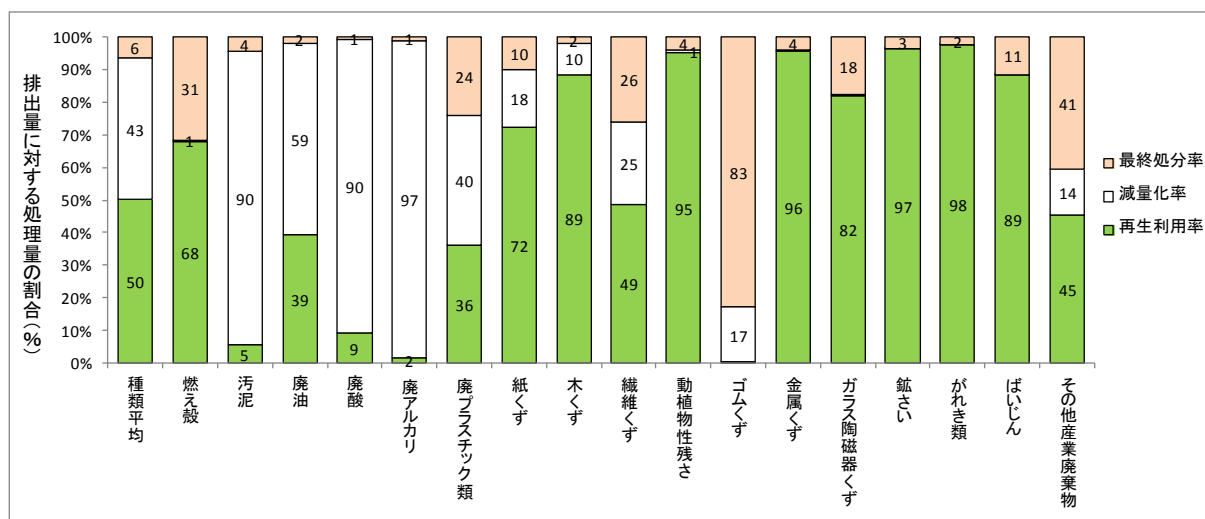
(単位：千t/年)

種類 \ 地区	計	県北地区	郡山市	郡山市を 除く県中 地区	県南地区	会津地区	南会津地区	相双地区	いわき市
合計	7,332 (100.0%)	757 (10.3%)	541 (7.4%)	239 (3.3%)	243 (3.3%)	423 (5.8%)	126 (1.7%)	1,797 (24.5%)	3,207 (43.7%)
燃え殻	142	0	1	0	2	1	0	106	31
汚泥	3,313	276	293	43	37	144	26	119	2,376
廃油	34	4	4	3	7	4	0	4	8
廃酸	23	2	4	5	2	3	0	2	5
廃アルカリ	81	15	11	6	7	15	0	11	16
廃プラスチック類	127	22	15	8	21	6	1	10	45
紙くず	5	2	1	0	1	0	0	1	1
木くず	168	24	17	13	30	21	8	19	36
繊維くず	1	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	16	8	4	2	1	0		0	0
動物系固形不要物									
ゴムくず	0	0		0				0	
金属くず	27	9	5	3	2	1	1	2	5
ガラス陶磁器くず	140	26	9	12	9	20	4	20	40
鉱さい	137	56	2	14	19	5	0	2	37
がれき類	1,675	299	172	126	102	201	85	400	290
ばいじん	1,403	0	0	0	0	1	0	1,096	305
動物のふん尿	7	5		0	2				
動物の死体	1								0
その他産業廃棄物	32	8	4	2	1	2	0	5	10

産業廃棄物の種類別の処理区分をみると、**図 2-5** のとおりである。

種類ごとに処理率をみると、汚泥、廃酸、廃アルカリは減量化される割合が高く、動植物性残さ、金属くず、鋳さい、がれき類は再生利用率が高くなっている。

一方で、燃え殻、ゴムくず、その他産業廃棄物（混合物等）は、最終処分率が高くなっている。



※図中の構成比 (%) の数値は、四捨五入しているため合計が 100%にならない場合がある。以下の図表において同じ。

図 2-5 産業廃棄物の種類別の処理区分

なお、産業廃棄物の処理状況を詳細にみたフローは、**図 2-6** のとおりである。

2.3 廃棄物処理計画で定めた目標値に対する達成状況

福島県廃棄物処理計画（平成27年3月）では、平成32年度における目標値をそれぞれ「排出量（825万トン以下）」、「再生利用率（51%以上）」、「最終処分率（8%以下）」とし、達成状況の進行管理をしている。

この目標値に対する実績値は、図2-7及び図2-8のとおりである。

平成28年度実績を目標値と比較すると、排出量（平成28年度:7,332千トン）と最終処分率（同:6%）の目標値は達成しているが、再生利用率（同:50%）については、目標値を達成していない。

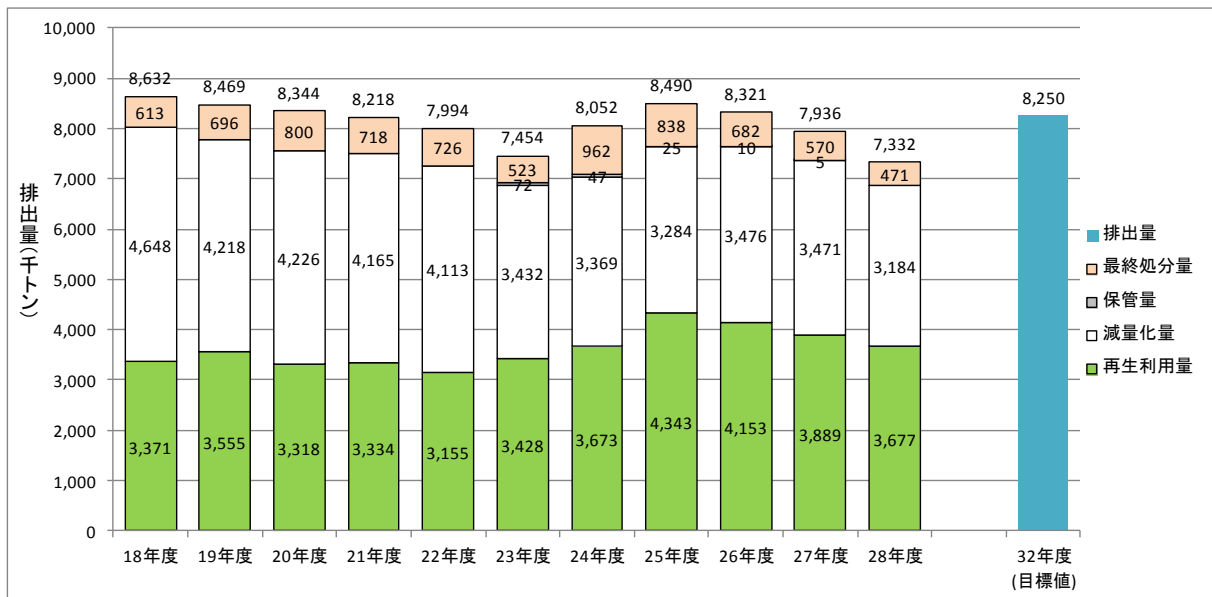


図 2-7 福島県廃棄物処理計画の達成状況（排出量）

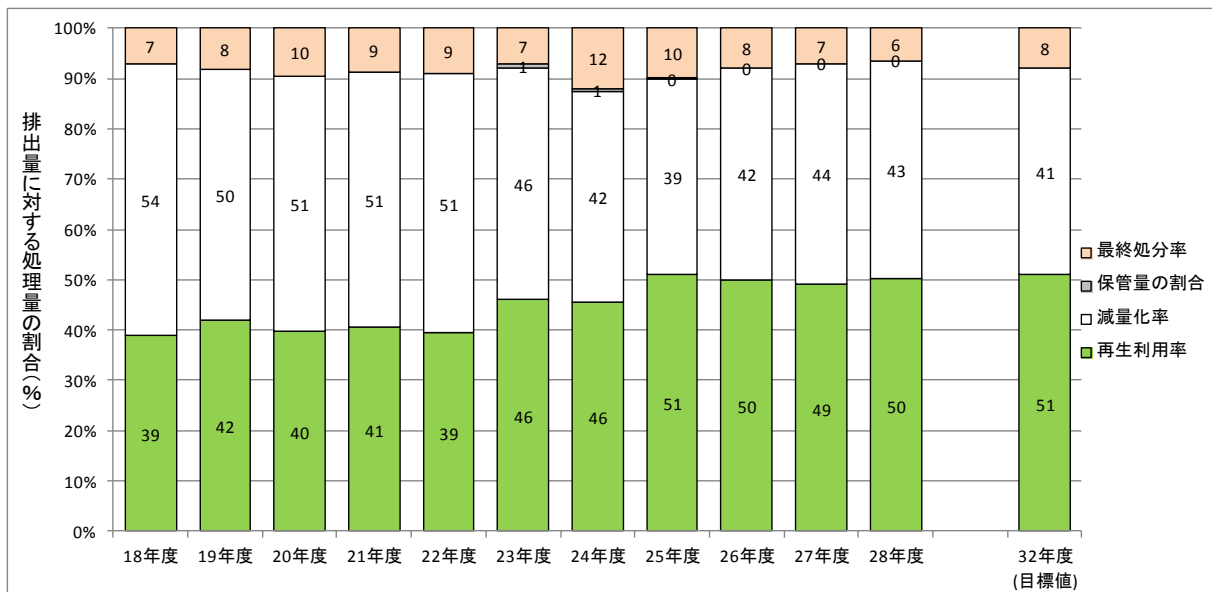


図 2-8 福島県廃棄物処理計画の達成状況（再生利用率・最終処分率）

2.4 地区別の産業廃棄物の処理状況

平成 28 年度の県内の産業廃棄物処理業者による中間処理実績及び最終処分実績を地区別にみると図 2-9 及び図 2-10 のとおりである。

産業廃棄物処理業者の中間処理実績を地区別にみると、いわき市が多くなっている。

産業廃棄物処理業者の最終処分実績を地区別にみると、いわき市、県北地区、相双地区が多くなっている。

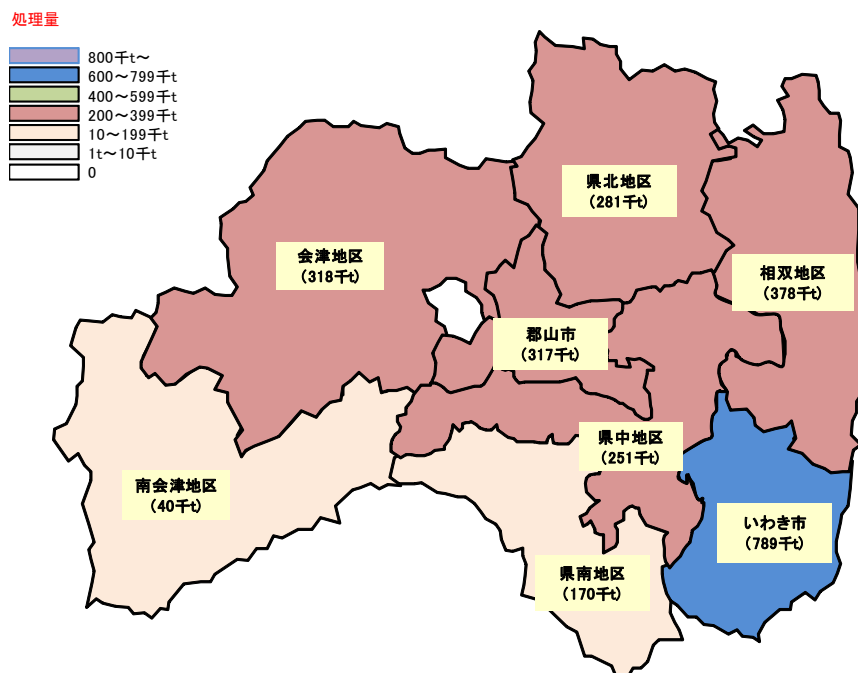


図 2-9 産業廃棄物処理業者の地区別中間処理実績

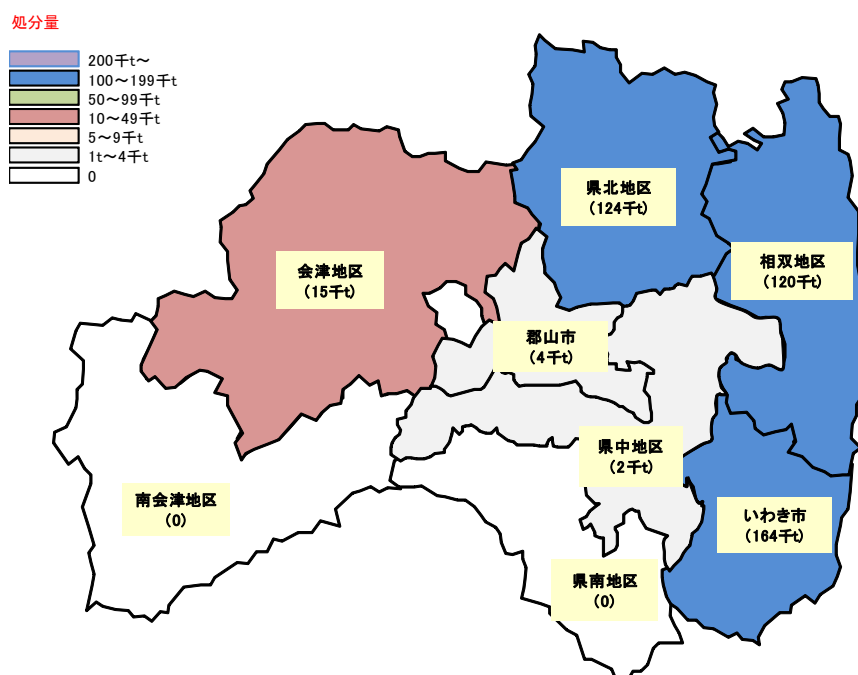


図 2-10 産業廃棄物処理業者の地区別最終処分実績

2.5 福島県廃棄物処理計画進行管理システムの更新結果

平成 28 年度実績として産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書のデータ（郡山市、いわき市分を含む。）等を基に、「福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム」に情報登録し、福島県をとりまく産業廃棄物の物流を整理した結果は、**図 2-11**、**図 2-12** のとおりである。

(1) 図 2-11、図 2-12 における各断面のデータについて

●赤枠処理項目

廃棄物処理法に基づく**多量排出事業者**及び適正化条例に基づく**指定排出事業者**より排出された産業廃棄物のうち、排出事業者内で処理が完結している有償物量、自己減量化量、自己再生利用量、自己埋立処分量、保管量について、処理フローを作成した。

●青枠処理項目

福島県内（郡山市、いわき市含む）の**産業廃棄物処分業者**の処分実績から、処理フローを作成した。

なお、紫枠は、県外から搬入処理された産業廃棄物の量は除外した。

●緑枠処理項目

福島県（郡山市、いわき市含む）許可を有する**産業廃棄物収集運搬業者**の運搬実績（県外への搬出分）から、処理フローを作成した。

なお、紫枠は、県外から搬入処理された産業廃棄物を排除した。

(2) 図 2-11、図 2-12 の表示値について

図 2-11 は、**多量排出事業者**及び**指定排出事業者**および**産業廃棄物処分業者**、**収集運搬業者**の処理実績データを単純に集計した。

図 2-12 は、図 2-11 のうち、排出事業者の業種が指定されている業種以外の事業所から発生した事業系一般廃棄物（紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物のふん尿及び動物の死体）は除外した。

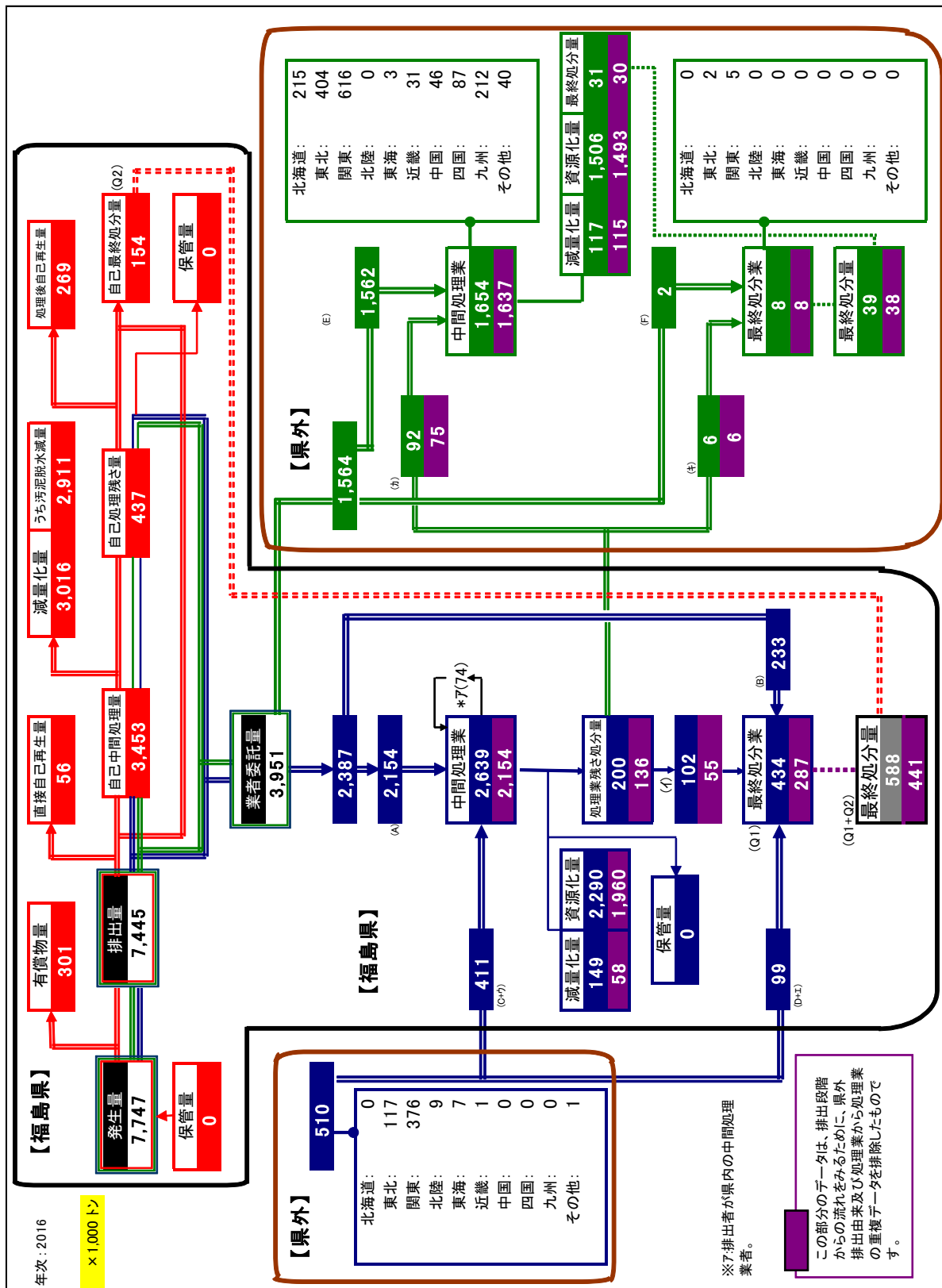


図2-11 福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム（メインフロー）＜事業系一般廃棄物を含む＞

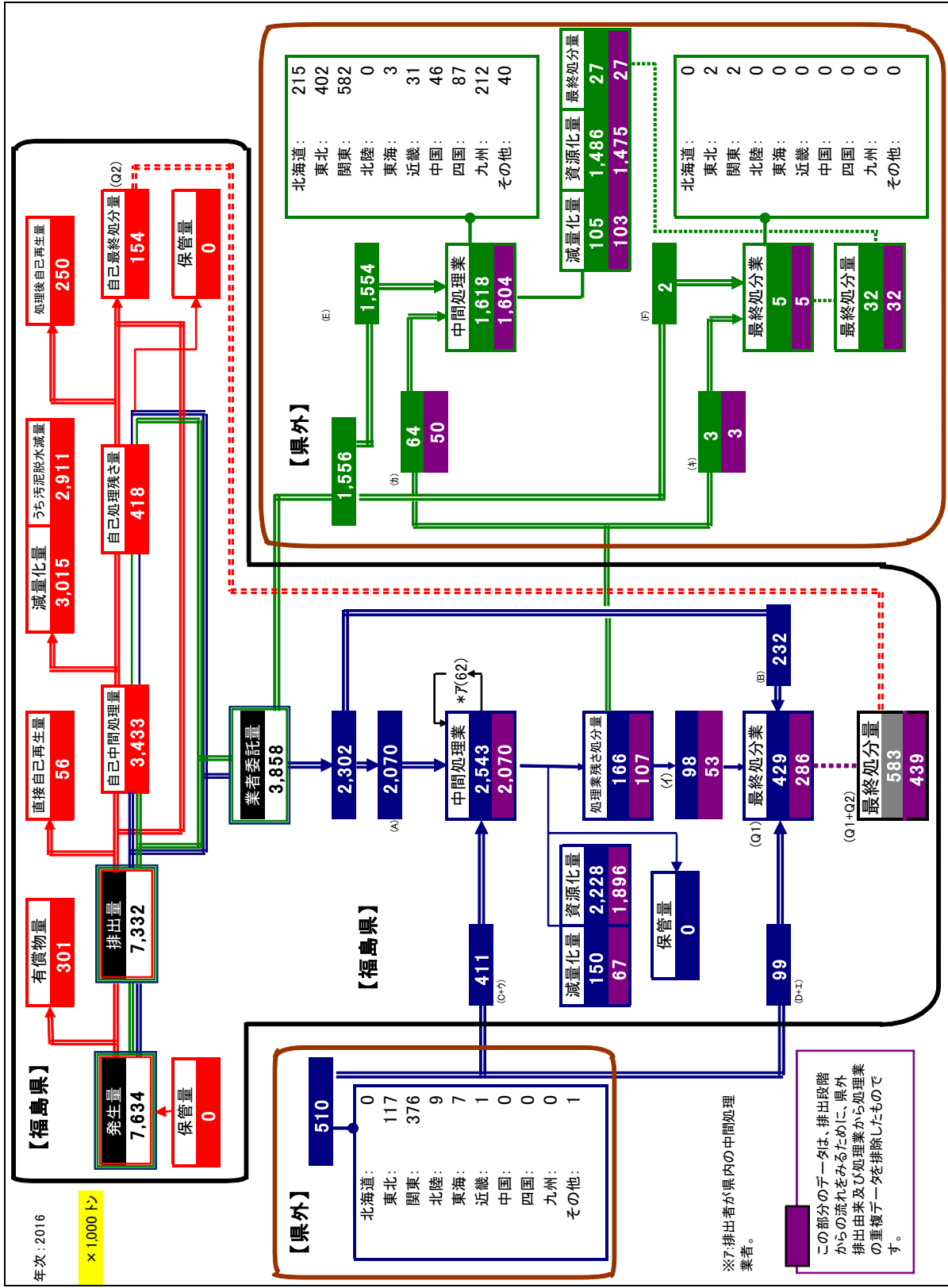


図2-12 福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム（メインフロー）＜福島県産業廃棄物処理計画進行管理用＞

2.6 東北地方太平洋沖地震及び大津波による産業廃棄物の排出量の経年変化

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及び大津波により、過去に経験したことのないほどの甚大な被害が生じるとともに、それに伴って膨大な災害廃棄物が発生した。

さらに、本県においては、福島第一原子力発電所の事故により、産業廃棄物についても、放射性物質に汚染され、通常の処理が困難になった。平成22年度から平成28年度の排出量、再生利用量、最終処分量等の変化は、以下のとおりである。

(1) 排出量の経年変化

産業廃棄物の排出量の経年変化は、**図 2-13** 及び**表 2-3** のとおりである。

平成23年度は、震災に伴い稼働を停止した火力発電所（ばいじん、燃え殻）、下水道（汚泥）の影響により減少となったが、平成24年度から平成27年度は火力発電所の再開に伴い発生するばいじんが大幅に増加し、工事に伴うがれき類も大幅に増加した。

平成28年度の排出量は、近年で最も少なくなっており、主要な種類は全て減少している。産業廃棄物が大量に発生する解体系の工事は減少傾向にあり、また大手事業所の汚泥やばいじんの排出量の減少が影響している。

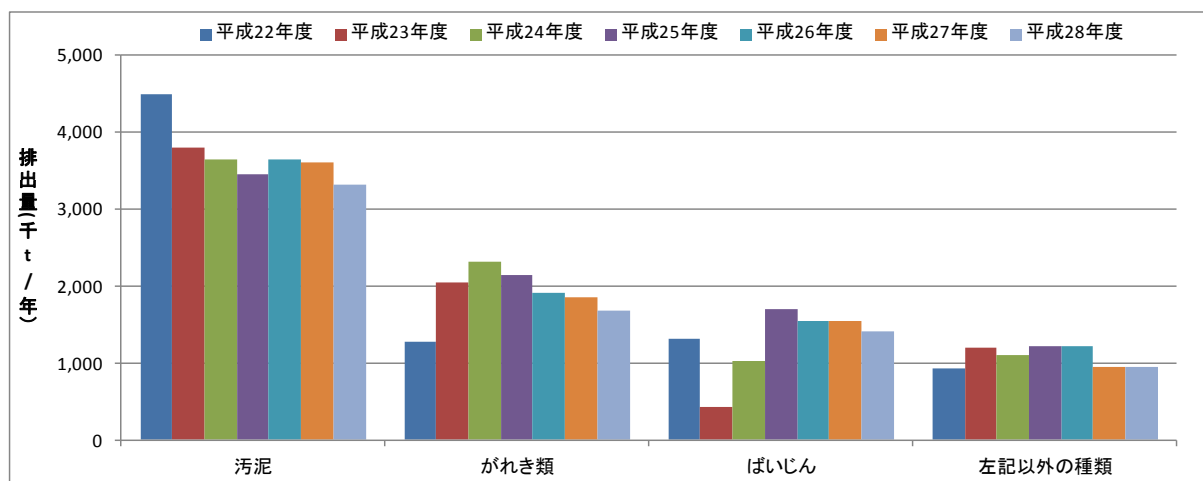


図 2-13 平成22年度から28年度の種別別排出量の経年変化

表 2-3 排出量の経年変化

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
排出量(千t/年)	7,994	7,454	8,052	8,490	8,321	7,936	7,332

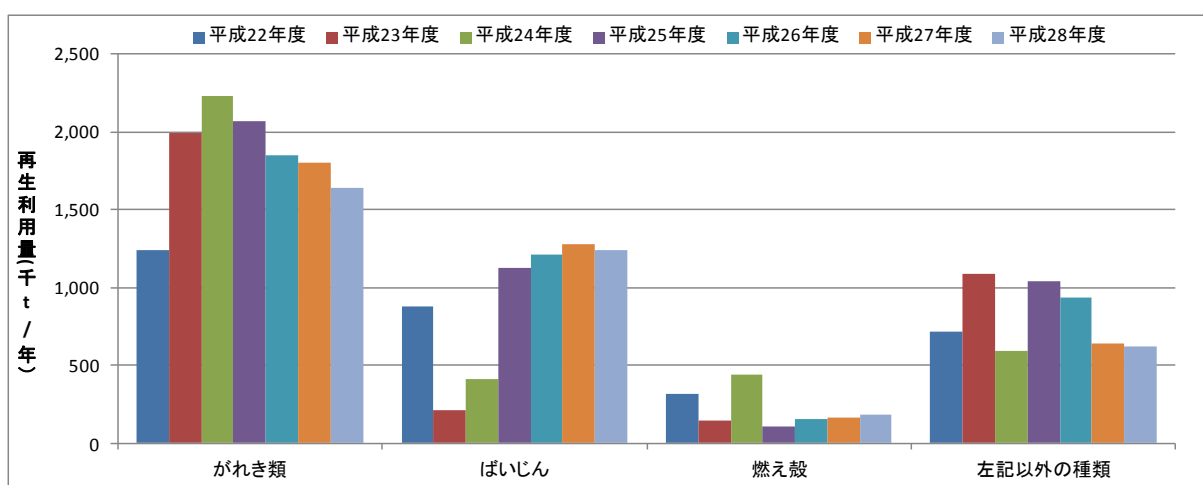
(2) 再生利用量の経年変化

産業廃棄物の再生利用量及び再生利用率は、**図 2-14**、**図 2-15** 及び**表 2-4** のとおりである。

再生利用量は、平成 23 年度に火力発電所が稼働を停止したことにより、ばいじんの排出量が減少し再生利用量も減少となったが、平成 24 年度に火力発電所の稼働再開に伴い、排出量及び再生利用量とも増加した。

また、災害復興に伴う建設業の事業活動が増加したことからがれき類の再生利用量が増加、平成 25 年度では、火力発電所からのばいじんの再生利用量が増加した。

平成 28 年度は、排出量が減少したため再生利用量も減少となったが、がれき類の再生利用率は高い水準を維持しており、ばいじんの再生利用率は上昇している。全体の再生利用率は 50%程度で推移している。



*種類は、再生利用時点の種類で集計したもの。

図 2-14 平成 22 年度から 28 年度の種類の再生利用量の経年変化

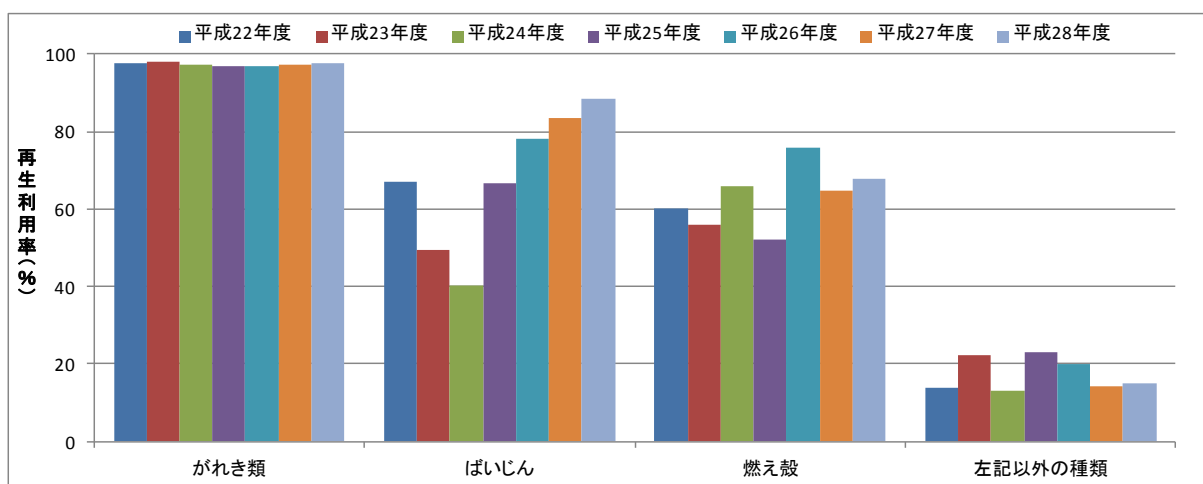


図 2-15 平成 22 年度から 28 年度の種類の再生利用率の経年変化

表 2-4 再生利用量の経年変化

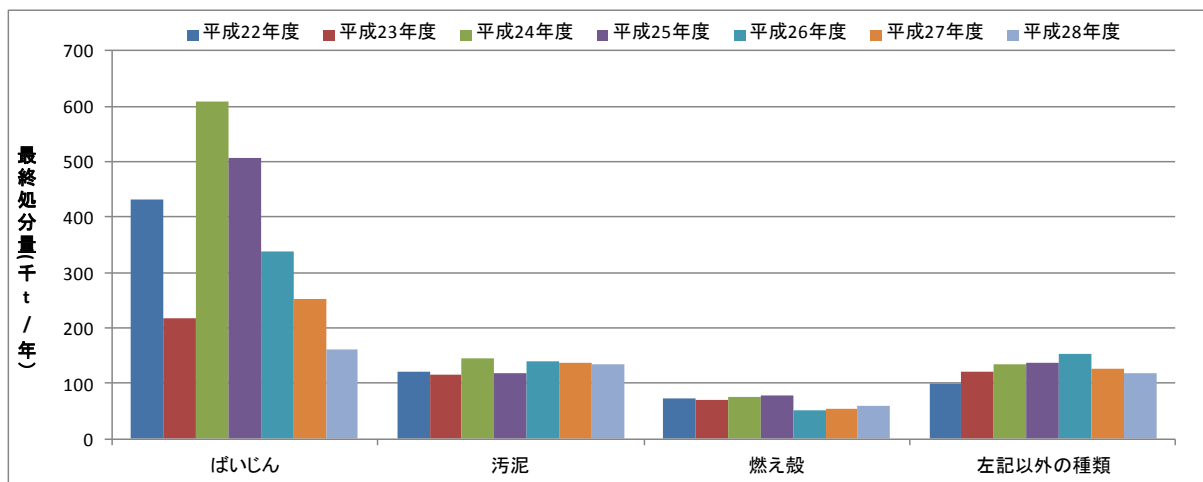
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
再生利用量(千t/年)	3,155	3,428	3,673	4,343	4,153	3,889	3,677
再生利用率(%)	39	46	46	51	50	49	50

(3) 最終処分量の経年変化

産業廃棄物の最終処分量及び最終処分率は、図 2-16、図 2-17 及び表 2-5 のとおりである。

最終処分量は、平成 23 年度に火力発電所から発生するばいじんの最終処分量が災害（稼働停止）により減少したが、平成 24 年度は稼働再開に伴い最終処分量が増加した。平成 25 年以降は、ばいじんの再生利用が進んだために最終処分量は減少している。

平成 28 年度は、排出量の減少及びばいじんと燃え殻の最終処分率の低下により最終処分量は減少している。全体の最終処分率は 6% であり、減少傾向にある。



*種類は、最終処分時点の種類で集計したもの。

図 2-16 平成 22 年度から 28 年度の種類の最終処分量の経年変化

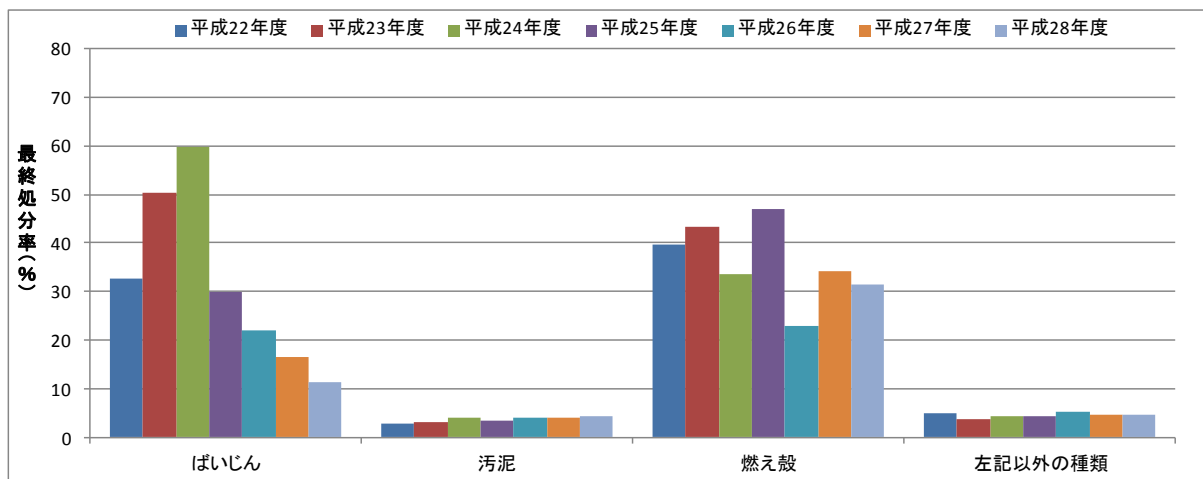


図 2-17 平成 22 年度から 28 年度の種類の最終処分率の経年変化

表 2-5 最終処分量の経年変化

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
最終処分量(千t/年)	726	523	962	838	682	570	471
最終処分率(%)	9	7	12	10	8	7	6

第3章 産業廃棄物処理業者の実績

3.1 県内の産業廃棄物処理業者の処分実績の概要

平成28年度における産業廃棄物処理業者の処分実績の概要は、図3-1のとおりである。

県内での中間処理量は2,543千トンとなっており、このうち2,133千トンが県内の排出事業者等から搬入され、411千トンが県外から搬入されている。

県内の最終処分量は429千トンで、このうち330千トンが県内の排出事業者等から搬入され、99千トンが県外から搬入されている。

県外へ搬出された産業廃棄物は1,623千トンで、このうち中間処理のため排出されたものが1,618千トン、最終処分のために搬出されたものが5千トンとなっている。

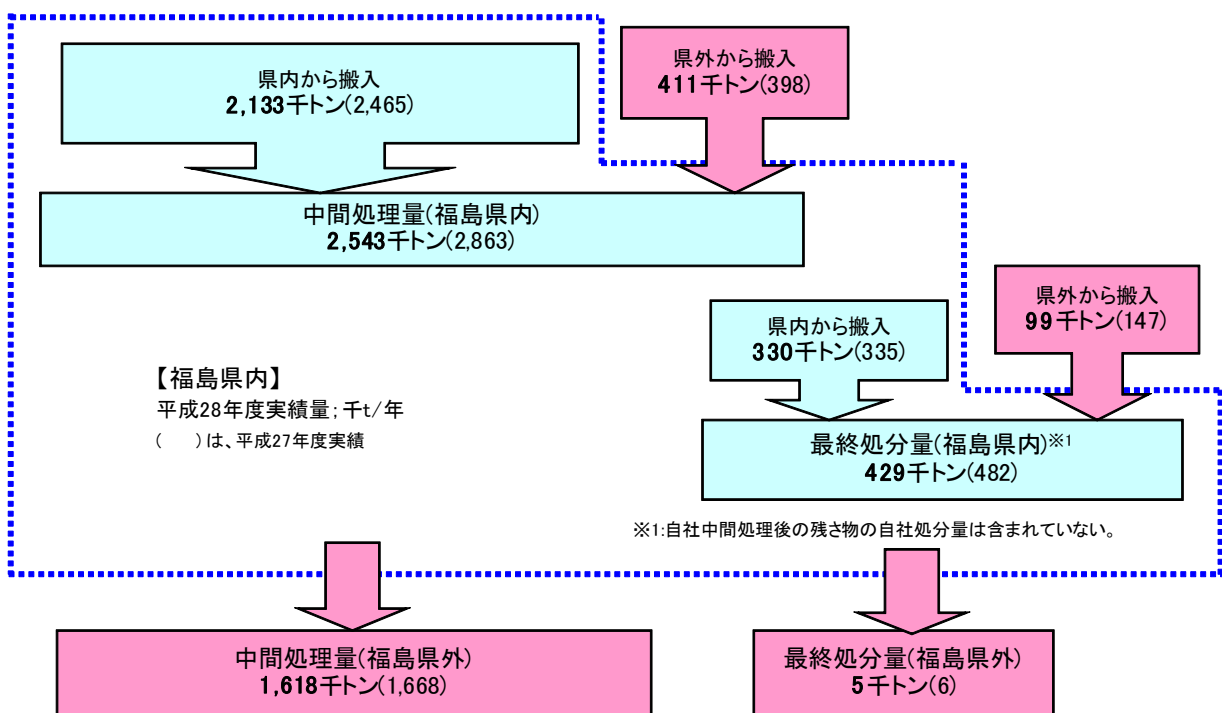


図3-1 産業廃棄物処理業者の処分実績の概要

1 県内の中間処理業者の処分実績

中間処理業者の産業廃棄物の種類別の処理量をみると、**図 3-2** 及び**表 3-1** のとおりである。
 中間処理業者の処理量 2,543 千トンのうち、がれき類が最も多くなっており、全体の 62% を占めている。

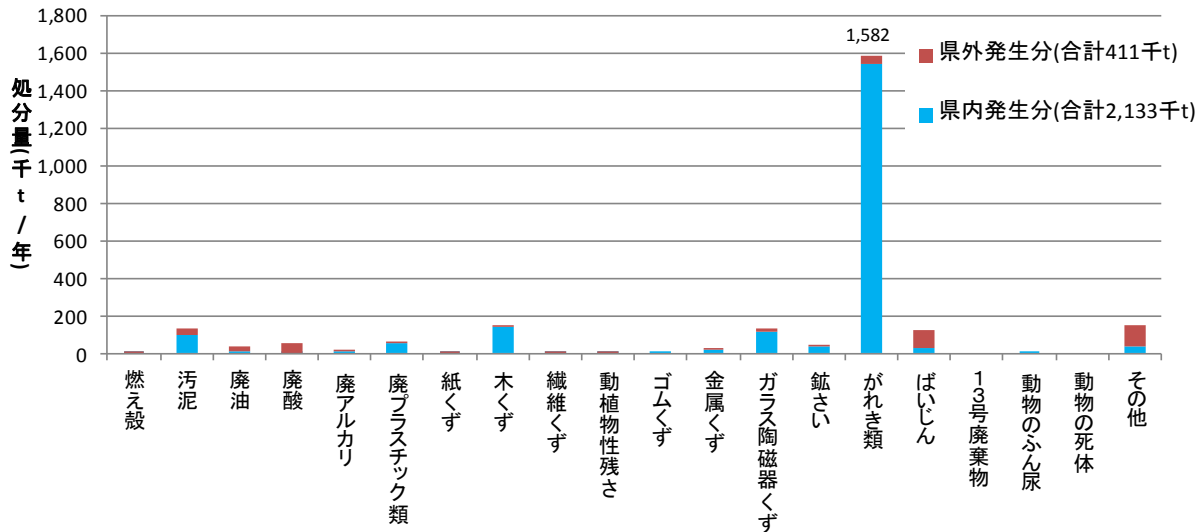


図 3-2 県内の中間処理業者の種類別処分実績

2 県内の最終処分業者の処分実績

最終処分業者の最終処分量を産業廃棄物の種類別にみると、**図 3-3** 及び**表 3-1** のとおりである。

最終処分業者の最終処分量 429 千トンのうち、ばいじんが最も多く、以下、汚泥、燃え殻、がれき類、廃プラスチック類の順となっており、この 5 種類で全体の 87% を占めている。

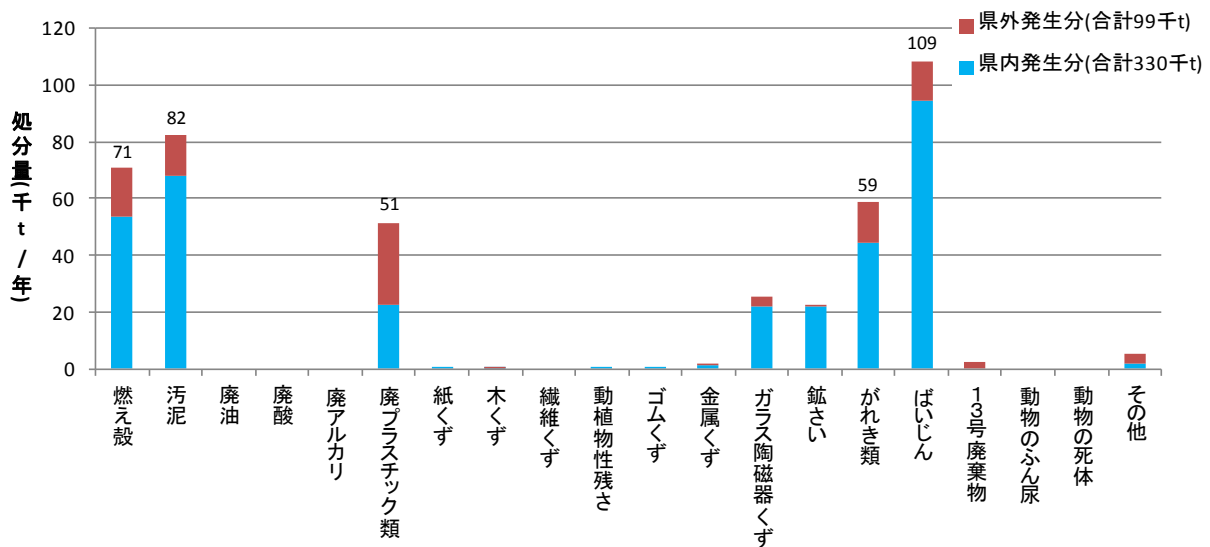


図 3-3 県内の最終処分業者の種類別処分実績

3 県外へ搬出された産業廃棄物の処分実績（収集運搬者実績報告より）

県内へ搬出された産業廃棄物の処分量を種類別にみると図 3-4 及び表 3-1 のとおりである。

県外へ搬出された産業廃棄物 1,623 千トンのうち、ばいじんが全体の 72%を占めている。なお、県外へ搬出されたばいじんのほとんどはセメント原料などに資源化されている。

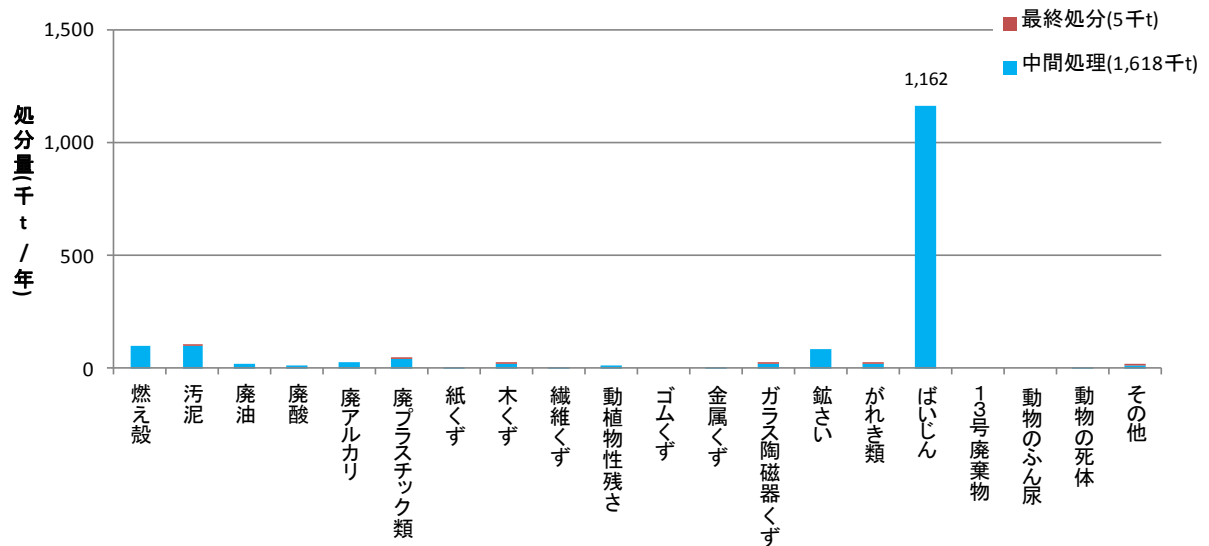


図 3-4 県外へ搬出された産業廃棄物の種類別処分実績

3.2 産業廃棄物処理業者の中間処理

県内の中間処理施設で処理された実績量を処理地区別及び委託元である発生地区別にみると、**図 3-5～図 3-6** 及び**表 3-3～表 3-4** とおりである。

県内の中間処理業者の中間処理量 2,543 千トン进行处理地区別にみると、いわき市が 789 千トンで最も多く、以下、相双地区が 378 千トン、会津地区が 318 千トン、郡山市が 317 千トン、県北地区が 281 千トン、県中地区が 251 千トン、県南地区が 170 千トン等となっている。**(図 3-5、表 3-2)**

県内の中間処理施設で処理された実績量を委託元である発生地区別にみると、県内では、いわき市が 493 千トンで最も多く、以下、相双地区が 411 千トン、県北地区が 308 千トン、会津地区が 241 千トン、郡山市が 237 千トン、県中地区が 175 千トン、県南地区が 143 千トン等となっている。**(図 3-6、表 3-3)**

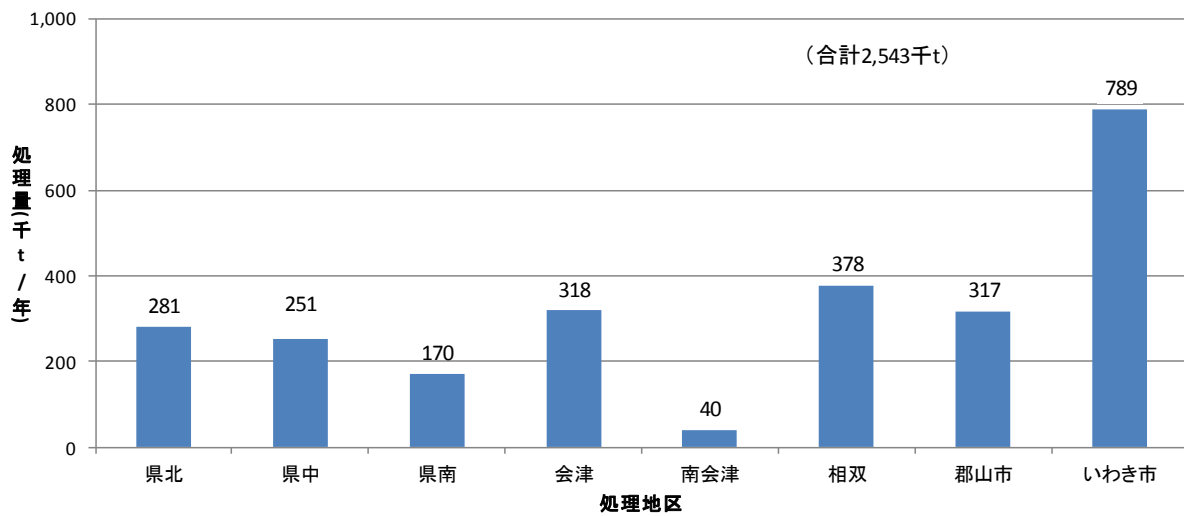
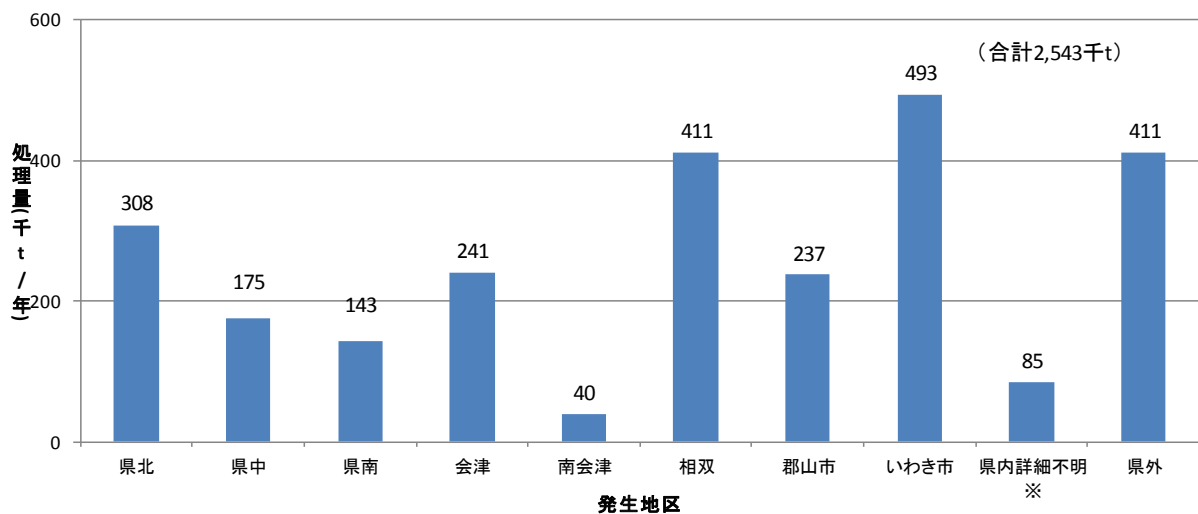


図 3-5 処理地区別の中間処理量



※県内詳細不明は、委託者の所在地が特定できなかったもの。

図 3-6 発生地区別の中間処理量

表 3-2 県内の中間処理業者の処理地区別処分実績 (産業廃棄物処分実績報告データの集計結果)

(単位 : t/年)

種類	処理地区 県内計								
		県北	県中	県南	会津	南会津	相双	郡山市	いわき市
合計	2,543,420	280,682	250,668	169,803	318,131	40,265	377,732	317,086	789,053
燃え殻	4,743	3,260			32				1,450
汚泥	132,803	12,900	8,650	8,136	17,945	40	24,315	21,883	38,936
廃油	35,113	553		665	16,948			3,424	13,523
廃酸	54,703		9	30	1,483			3	53,178
廃アルカリ	14,589			1,500	4,682			0	8,407
廃プラスチック類	65,054	8,797	8,194	6,696	11,422	267	1,286	14,597	13,795
紙くず	4,228	475	285	203	1,304	100	235	1,164	460
木くず	155,249	14,188	20,087	24,976	20,830	3,440	6,933	26,920	37,875
繊維くず	979	240	5	41	75	19	109	155	336
動植物性残さ	11,852	1,495	6,855	3,283	58			52	110
動物系固形不要物									
ゴムくず	2				0				2
金属くず	22,564	2,079	9,290	928	223	373	690	3,991	4,991
ガラス陶磁器くず	131,617	23,945	6,789	13,871	13,074	3,192	10,444	5,184	55,118
鋳さい	41,430	3,369		12,340	41			12,000	13,680
がれき類	1,582,181	193,683	189,467	95,536	188,328	32,834	333,720	223,321	325,292
ばいじん	124,134	5,572			39,060				79,502
13号廃棄物									
動物のふん尿	6,822	5,098	125	1,599					
動物の死体	0								0
その他	155,357	5,027	911		2,626	1	2	4,391	142,399
感染性廃棄物	10,278				1,482				8,796
混合廃棄物	141,039	4,961	911		562	1	2	4,391	130,211
その他	4,040	67			582				3,392

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その1＞

(単位：t/年)

種類	県内計										県外計					
	発生地区	物流計	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	郡山市	いわき市	県内地域 詳細不明	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県
合計		2,543,420 (100.0%)	308,150 (12.1%)	175,287 (6.9%)	142,728 (5.6%)	241,166 (9.5%)	39,948 (1.6%)	410,670 (16.1%)	237,129 (9.3%)	492,673 (19.4%)	84,826 (3.3%)	410,843 (16.2%)	2,322 (0.1%)	2,077 (0.1%)	73,422 (2.9%)	635 (0.0%)
燃え殻		4,743	3	0	2	6	1	1,808	97	327		2,499			37	
汚泥		132,803	16,797	15,299	2,505	8,770	461	7,025	13,870	29,994	3,451	34,633	6	28	591	70
廃油		35,113	1,476	1,022	884	2,167	71	771	2,848	4,152	93	21,829	21	1,313	682	18
廃酸		54,703	388	75	114	941	3	255	73	1,559		51,295	0	1	112	8
廃アルカリ		14,589	618	615	1,632	2,761	7	1,069	913	3,647		3,326	2	5	162	11
廃プラスチック類		65,054	9,593	5,879	3,667	5,284	391	5,120	12,719	10,523	244	11,635	2	141	3,441	15
紙くず		4,228	577	252	212	58	100	497	362	574	299	1,298			1,290	
木くず		155,249	21,542	12,904	17,788	20,443	3,322	14,023	15,821	36,137	2,250	11,019		29	1,505	
繊維くず		979	152	32	36	97	12	162	60	334	92	2				
動植物性残さ		11,852	1,315	1,683	950	151		20	4,073	67	38	3,557			1,144	
動物系固形不要物																
ゴムくず		2		2								0			0	
金属くず		22,564	3,951	3,751	1,430	509	416	1,588	5,019	4,845	107	948	5	83	366	22
ガラス陶磁器くず		131,617	23,394	9,341	8,584	14,487	2,396	14,544	6,887	38,117	47	13,820		3	5,804	0
鉱さい		41,430	2,723	366	8,995	275		374	19	25,823		2,855			2,472	
がれき類		1,582,181	215,201	117,595	93,954	182,513	32,726	358,154	171,474	293,264	78,201	39,097			29,463	
ばいじん		124,134			43	1,102	2	543	10	27,731		94,704	2,241		22,927	480
13号廃棄物																
動物のふん尿		6,822	5,098	125	1,599											
動物の死体		0		0	0											
その他		155,357	5,322	6,346	334	1,602	38	4,719	3,085	15,579	4	118,327	263	15	474	3,426
感染性廃棄物		10,278	1,014	119	52	495	23	91	712	980	0	6,792	12	0	1,080	1
混合廃棄物		141,039	4,146	6,218	272	578	14	4,555	2,344	14,062		108,949		382	1,952	
その他		4,040	161	9	10	529	1	73	29	538	4	2,687	263	92	394	10

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その2＞

種類	発生地区																
	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県
合計	3,164 (0.1%)	-	89,598 (3.5%)	48,216 (1.9%)	31,698 (1.2%)	34,436 (1.4%)	42,074 (1.7%)	22,432 (0.9%)	15,290 (0.6%)	28,995 (1.1%)	8,528 (0.3%)	28 (0.0%)	20 (0.0%)	162 (0.0%)	1,746 (0.1%)	100 (0.0%)	3,165 (0.1%)
燃え殻		-	2	4	1,527				16	1	913						
汚泥	391	-	3,172	2,161	3,065	3,730	803	11,331	803	6,051	359	27	20	28	982	24	274
廃油	550	-	3,623	886	2,318	688	2,760	1,049	1,054	3,118	1,992	1	0	11	133	5	1,199
廃酸	748	-	49,543	224	6	48	94	71	37	13	107	1		13	2	5	197
廃アルカリ	270	-	936	285	12	59	475	34	165	410	2	0		103	1	2	226
廃プラスチック類	288	-	835	1,830	14	85	185	22	3,323	1,136	55	0		1	105	57	36
紙くず		-	3	4													
木くず	8	-	3,856	2,075	11	1,025	1,513	860	138								
繊維くず		-	1	2													
動植物性残さ		-	48			2,337											28
動物系固形不要物		-															
ゴムくず		-															
金属くず	99	-	112	112	51	2	3	12	4	15	3			0	0	9	0
ガラス陶磁器くず	145	-	3,249	1,779	2,110	10	9	513	124	18				0	0		0
鉱さい		-	343	40													
がれき類	586	-	74	161	1,345	144	7,249	41	7	27							
ばいじん	2	-	15,779	9,392	3,722	12,201	4,729	5,101	2,870	10,303	4,918				41		0
13号廃棄物		-															
動物のふん尿		-															
動物の死体		-															
その他	77	-	8,021	29,262	17,518	14,109	24,254	3,384	6,765	6,992	1,091		0	6	481		1,205
感染性廃棄物	38	-	2,372	818	163	366	280	529	768	347				6			12
混合廃棄物		-	5,414	28,376	17,343	13,441	23,575	2,743	5,728	6,494	1,082				463		1,182
その他	39	-	235	67	12	301	399	112	268	151	10		0		18		12

(単位：t/年)

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その3＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区別実績																
	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	鳥栖県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
合計	333 (0.0%)	571 (0.0%)	53 (0.0%)	10 (0.0%)	540 (0.0%)	262 (0.0%)	13 (0.0%)	17 (0.0%)		101 (0.0%)	1 (0.0%)	9 (0.0%)	0 (0.0%)		1 (0.0%)	11 (0.0%)	
燃え殻																	
汚泥	128	257	30	5	92	181	4	14			0	0			1	0	
廃油	12	142	2	4	206	36	4	2			1	0	0		0	1	
廃酸	0	3	10	1	22	28	0				0					0	
廃アルカリ	0	131	0	0	23	11	0				0						
廃プラスチック類	27	23	11				2	0									
紙くず																	
木くず																	
繊維くず																	
動植物性残さ																	
動物系固形不要物																	
ゴムくず																	
金属くず	9		0		1	5	1					0					
ガラス陶磁器くず					51		2	0									
鉱さい																	
がれき類																	
ばいじん																	
13号廃棄物																	
動物のふん尿																	
動物の死体																	
その他	157	15		0	145	1	1			101		8				11	
感染性廃棄物																	
混合廃棄物	136																
その他	21	15		0	145	1				101		8				11	

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その4＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区別実績									
	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	県外不明	
合計	0 (0.0%)			1 (0.0%)				0 (0.0%)	536 (0.0%)	
燃え殻										
汚泥	0			1				0		
廃油								0		
廃酸										
廃アルカリ	0									
廃プラスチック類										
紙くず										
木くず										
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず										
ガラス陶磁器くず										
鉱さい										
がれき類										
ばいじん										
13号廃棄物										
動物のふん尿										
動物の死体										
その他									536	
感染性廃棄物										
混合廃棄物									536	
その他										

3.3 県内の産業廃棄物処理業者の最終処分

最終処分場で処分された実績量を処理地区別にみると、**図 3-7**～**図 3-8** 及び**表 3-4**～**表 3-5** とおりである。

県内の最終処分業者の最終処分量 **429** 千トン进行处理地区別にみると、いわき市が **164** 千トンで最も多く、以下、県北地区が **124** 千トン、相双地区が **120** 千トン等となっている。(**図 3-7**、**表 3-4**)

県内の最終処分場で処分された実績量を委託元である発生区別にみると、相双地区が **142** 千トンで最も多く、以下、県外が **99** 千トン、いわき市が **71** 千トン、会津地区が **39** 千トン、郡山市が **29** 千トン、県北地区が **24** 千トン、県中地区が **12** 千トン等となっている。(**図 3-8**、**表 3-5**)

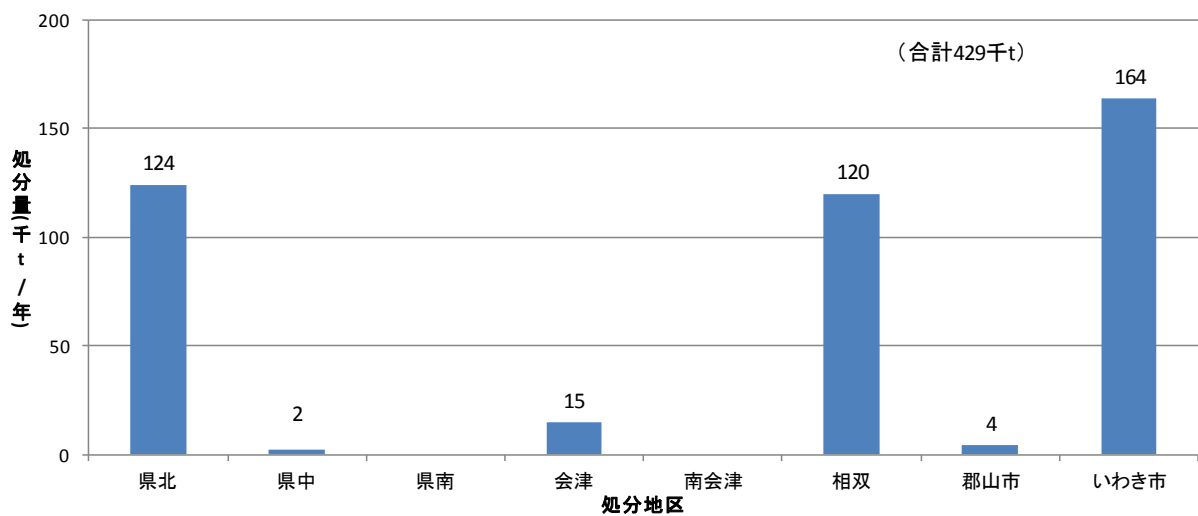
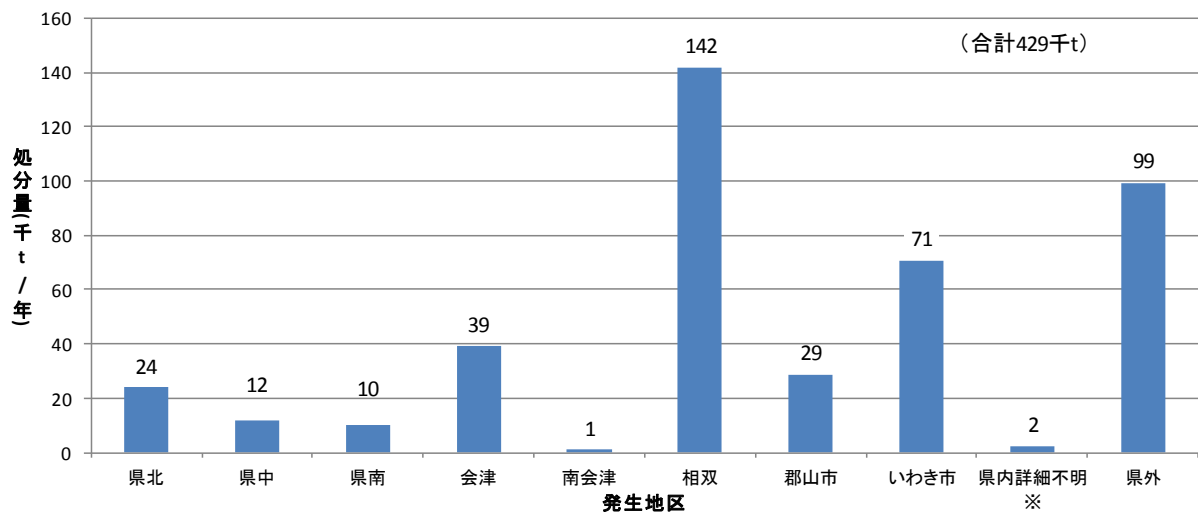


図 3-7 処分地区別の県内の最終処分業者による処分量



※県内詳細不明は、委託者の所在地が特定できなかったもの

図 3-8 発生地区別の最終処分業者による処分量

表 3-4 県内の最終処分業者の処分地区別処分実績 (産業廃棄物処分実績報告データの集計結果)

(単位: t/年)

種類	処分地区	県内計								
		県北	県中	県南	会津	南会津	相双	郡山市	いわき市	
合計		429,392	124,279	1,930		14,934		119,992	4,360	163,897
燃え殻		70,990	26,950			2,112		23,239	42	18,646
汚泥		82,246	43,679			4,686		4,644	2,298	26,940
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類		51,304	1,203	158		870		3	1,034	48,036
紙くず		1							0	1
木くず		12	9							3
繊維くず										
動植物性残さ		603				13			590	
動物系固形不要物										
ゴムくず		7	7							
金属くず		952	380	38		168			20	346
ガラス陶磁器くず		25,618	6,554	158		2,902		0	73	15,932
鉱さい		22,723	10,564			1,740			230	10,189
がれき類		58,822	20,512	916		2,095		59	73	35,167
ばいじん		108,505	11,879			348		92,046		4,232
13号廃棄物		2,543	2,543							
動物のふん尿										
動物の死体										
その他		5,064		661						4,404
	感染性廃棄物									
	混合廃棄物	5,064		661						4,404
	その他									

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その1＞

発生地区 種類	県内計										県外計				
	物流計	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	郡山市	いわさき市	県内地域 詳細不明	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県
合計	429,392 (100.0%)	330,102 (76.9%)	23,926 (5.6%)	11,781 (2.7%)	10,363 (2.4%)	39,202 (9.1%)	1,102 (0.3%)	141,856 (33.0%)	28,859 (6.7%)	70,715 (16.5%)	2,298 (0.5%)	99,290 (23.1%)	919 (0.2%)	3,031 (0.7%)	
燃え殻	70,990	53,795	525	99	8,417	4	25,127	1,863	16,665	603		17,195	141	1,384	
汚泥	82,246	67,716	4,107	2,354	5,130	336	13,458	8,655	29,283	1,113		14,530	601	27	
廃油															
廃酸															
廃アルカリ															
廃プラスチック類	51,304	22,288	7,080	3,307	338	58	2,655	1,325	5,713	14		29,016		3	
紙くず	1	1						0	1						
木くず	12	8	5						3			4			
繊維くず															
動植物性残さ	603	603		590	13										
動物系固形不要物															
ゴムくず	7	7													
金属くず	952	941	201	44	140	8	21	30	271	6		12			
ガラス陶磁器くず	25,618	21,731	2,026	2,428	2,813	267	3,130	4,113	6,114	190		3,887		216	
鉱さい	22,723	22,144	992	249	18,011	81	556	826	1,078			579			
がれき類	58,822	44,296	8,830	2,405	3,159	319	3,886	11,615	10,421	372		14,526		24	
ばいじん	108,505	94,711	111	20	1,170		92,990		280			13,794	177	1,376	
13号廃棄物	2,543											2,543			
動物のふん尿															
動物の死体															
その他	5,064	1,860	42	285	9	29	33	432	887			3,204			
感染性廃棄物															
混合廃棄物	5,064	1,860	42	285	9	29	33	432	887			3,204			
その他															

(単位：t/年)

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その2＞

(単位：t/年)

種類	発生地区																
	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県
合計		-	7,693 (1.8%)	13,691 (3.2%)	23,729 (5.5%)	22,250 (5.2%)	5,381 (1.3%)	10,808 (2.5%)	8,491 (2.0%)	2,605 (0.6%)				1 (0.0%)	679 (0.2%)		12 (0.0%)
燃え殻		-	132	3,721	1,202	7,798	555	414	1,328	520							
汚泥		-	801	234	2,991	6,904	381	761	1,576	254							
廃油		-															
廃酸		-															
廃アルカリ		-															
廃プラスチック類		-	3,458	218	14,713	3,130	1,704	2,961	983	1,158					679		9
紙くず		-															
木くず		-		2	2												
繊維くず		-															
動植物性残さ		-															
動物系固形不要物		-															
ゴムくず		-															
金属くず		-		3	8												
ガラス陶磁器くず		-	795	354	155	419	47	446	930	522							3
鉱さい		-		292	32			255									
がれき類		-	2,267	663	395	2,226	461	5,621	2,717	150				1			
ばいじん		-		6,098	1,289	1,750	2,233	349	521								
13号廃棄物		-		2,107					436								
動物のふん尿		-															
動物の死体		-															
その他		-	240		2,941	23											
感染性廃棄物		-															
混合廃棄物		-	240		2,941	23											
その他		-															

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その3＞

(単位：t/年)

発生地区	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
種類																	
合計																	
燃え殻																	
汚泥																	
廃油																	
廃酸																	
廃アルカリ																	
廃プラスチック類																	
紙くず																	
木くず																	
繊維くず																	
動植物性残さ																	
動物系固形不要物																	
ゴムくず																	
金属くず																	
ガラス陶磁器くず																	
鉱さい																	
がれき類																	
ばいじん																	
13号廃棄物																	
動物のふん尿																	
動物の死体																	
その他																	
感染性廃棄物																	
混合廃棄物																	
その他																	

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その4＞

(単位：t/年)

種類	発生地区								
	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	県外不明
合計									
燃え殻									
汚泥									
廃油									
廃酸									
廃アルカリ									
廃プラスチック類									
紙くず									
木くず									
繊維くず									
動植物性残さ									
動物系固形不要物									
ゴムくず									
金属くず									
ガラス陶磁器くず									
鉱さい									
がれき類									
ばいじん									
13号廃棄物									
動物のふん尿									
動物の死体									
その他									
感染性廃棄物									
混合廃棄物									
その他									

第4章 産業廃棄物多量排出事業者の排出・処理実績

4.1 多量排出事業者等における報告状況

多量排出事業者の実施報告及び指定排出事業者の実績報告書の報告数をみると、表 4-1 及び表 4-2 のとおりである。

多量排出事業者の実施報告は 275 事業者、指定排出事業者の実績報告は 18 業者となっている。また、その他年間の発生量が 500 t 未満の事業者の報告が 40 件あった。

表 4-1 多量排出事業者等における報告状況（平成 28 年度実績）

	廃棄物処理法に基づく多量排出事業者										(報告数)	
	計	産業廃棄物多量排出事業場				特別管理産業廃棄物多量排出事業場				適正化条 例に基づ く指定排 出事業者	その他	
		小計	福島県 (2市除く)	郡山市	いわき市	小計	福島県 (2市除く)	郡山市	いわき市			
農業・林業												
漁業												
鉱業												
建設業	104	102	75	17	10	2	1		1	9	8	
製造業	132	80	54	6	20	52	29	9	14	7	23	
電気・ガス・水道業	27	26	16	3	7	1			1	1	1	
情報通信業												
運輸・郵便業	2	1			1	1		1				
卸・小売業												
金融・保険業												
不動産業・物品賃貸業												
専門サービス業												
宿泊業・飲食サービス業												
生活関連サービス業										1		
教育・学習支援業												
医療・福祉業	9					9	5	2	2		8	
複合サービス業												
サービス業	1	1	1									
公務												
計	275	210	146	26	38	65	35	12	18	18	40	

*同一の事業場であっても、産業廃棄物と特別管理産業廃棄物を別々に集計してある。

多量排出事業者における平成 29 年度の発生量の目標値の報告数は表 4-2 のとおりであり、産業廃棄物に係るものが 193 事業者、特別管理産業廃棄物に係るものが 69 事業者の合計 262 事業者となっている。

表 4-2 多量排出事業者等における目標値の報告状況（平成 29 年度）

	廃棄物処理法に基づく多量排出事業者									(報告数)
	計	産業廃棄物多量排出事業場				特別管理産業廃棄物多量排出事業場				適正化条 例に基づ く指定排 出事業者
		小計	福島県 (2市除く)	郡山市	いわき市	小計	福島県 (2市除く)	郡山市	いわき市	
農業・林業										
漁業										
鉱業										
建設業	89	88	63	16	9	1	1			17
製造業	136	79	52	7	20	57	32	9	16	9
電気・ガス・水道業	27	26	17	2	7	1			1	1
情報通信業										
運輸・郵便業	1					1		1		
卸・小売業										
金融・保険業										
不動産業・物品賃貸業										
専門サービス業										
宿泊業・飲食サービス業										
生活サービス業										1
教育・学習支援業										
医療・福祉業	9					9	5	2	2	
複合サービス業										
サービス業										
公務										
計	262	193	132	25	36	69	38	12	19	28

*同一の事業場であっても、産業廃棄物と特別管理産業廃棄物を別々に集計してある。

4.2 産業廃棄物多量排出事業者等の属性

平成28年度における多量排出事業者の実施報告及び指定排出事業者の実績報告で集計した排出量（発生量－有価物量）をみると、**図4-1～図4-2、表4-3～表4-4**のとおりである。

排出量5,646千トン種類別にみると、汚泥が最も多く、以下、ばいじん、がれき類等となっている。（**図4-1、表4-3**）

排出量を業種別にみると、製造業が最も多く、以下、電気・ガス・水道業、建設業等となっている。（**図4-2、表4-4**）

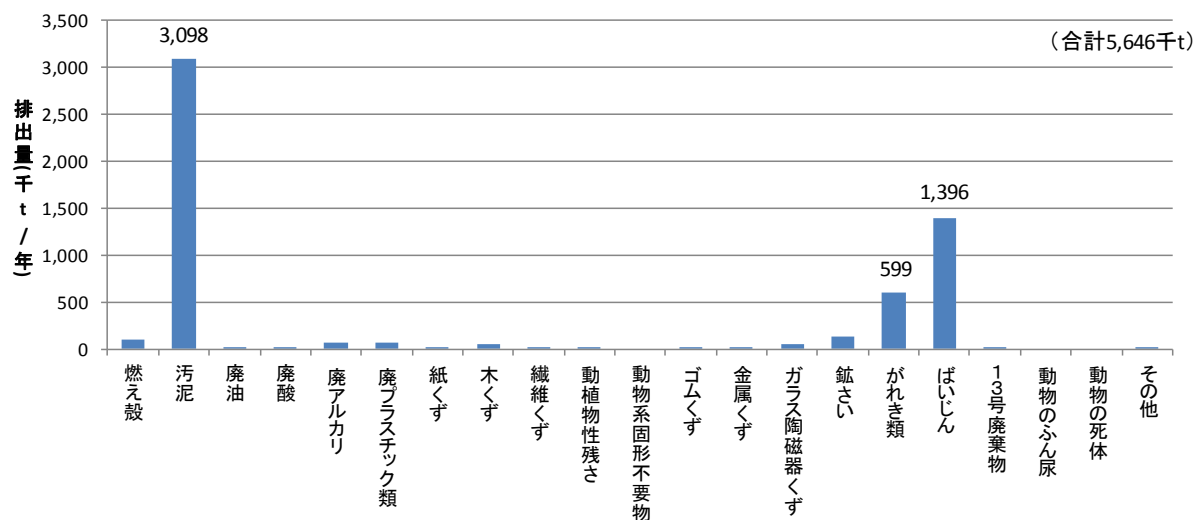


図4-1 多量排出事業者等の種類別の産業廃棄物排出量

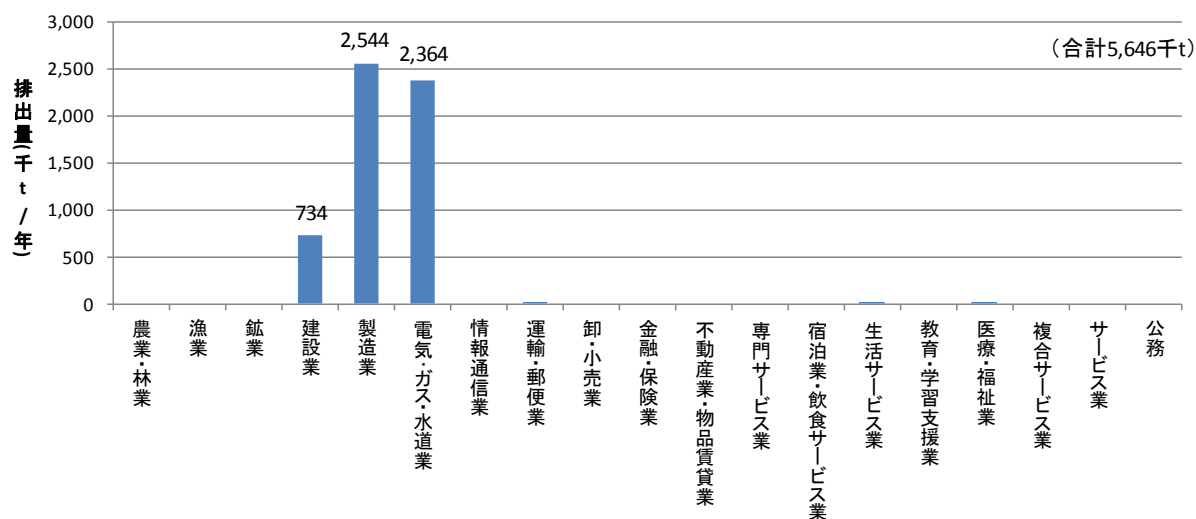


図4-2 多量排出事業者等の業種別の産業廃棄物排出量

表4-3 産業廃棄物の種類別にみた多量排出事業者等の発生量及び処理・処分量（事業系一般廃棄物を除く）

処理・処分 種類	処理状況										委託処理			総括					
	自社処理					委託処理量					委託処理 減量化量	委託処理 残さ量	委託処理 再生利用量	委託処理 最終処分量	排出量	減量化量	再生利用量	最終処分量	
	発生量	有価物量	直接再生 利用量	直接最終 処分量	中間処理 量	減量化量	残さ量	中間処理 後の自己 利用・売 却量	中間処理 後の自己 最終処分 量	委託処理量									委託中間処理量
											発生量	割合	発生量	割合	発生量	割合	発生量	割合	
合計	5,947	301	56	87	3,118	2,877	241	74	66	2,482	2,261	154	2,107	2,059	51	202	5,646	2,189	406
	(100.0%)	(5.1%)	(0.9%)	(1.5%)	(52.4%)	(48.4%)	(4.1%)	(1.2%)	(1.1%)	(41.7%)	(38.0%)	(2.6%)	(35.4%)	(34.6%)	(0.9%)	(3.4%)	(94.9%)	(36.8%)	(6.8%)
燃え殻	213	111		11						91	64	1	63	62	1	27	102	62	39
汚泥	3,238	140	16	7	2,947	2,787	160	0	66	220	169	81	87	62	25	46	3,098	78	144
廃油	17	2	2		0	0				13	11	9	1	1	0	2	15	10	3
廃酸	18	1	0		8	8	0			8	7	6	1	1	0	1	16	14	1
廃アルカリ	70	0	0		43	42	1	0		27	25	23	3	2	2	0	69	66	2
廃プラスチック類	72	3	0	0	42	37	5	4		26	22	4	18	16	2	2	68	44	20
紙くず	8	4			2	0	1	1		2	2	0	1	1	0	0	4	1	2
木くず	50	0			5	1	4	4		45	43	11	32	31	1	1	50	12	35
繊維くず	0				0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	5	0								5	5	0	5	5	0	1	5	0	5
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0									0	0	0	0	0			0	0	0
金属くず	20	9	4	0	1		1	1		6	5	1	4	3	0	1	11	1	9
ガラス陶磁器くず	60	0	1	0	4	0	4	3	0	55	40	5	35	31	6	15	60	3	36
鉱さい	141	5			18	18	14			122	118		118	114	4	2	136	2	128
がれき類	599			1	46	0	46	46		552	540	8	532	524	8	5	599	15	571
ばいじん	1,420	24	33	68	0	0	0	0		1,294	1,201	0	1,201	1,201	0	93	1,396	0	1,294
13号廃棄物	0									0							0	0	0
動物のふん尿																			
動物の死体																			
その他	16			0	1	1	0			15	10	4	6	4	2	5	16	5	4
感染性廃棄物	2				0	0	0			2	1	1	0	0	0	0	2	1	0
混合廃棄物	12			0	0	0	0			12	8	2	6	4	2	5	12	2	4
その他	2				1	1				1	1	1	0	0	0	0	2	2	0

(単位：千t/年)

表4-4 業種別にみた多量排出事業者等の産業廃棄物発生量及び処理・処分量（事業系一般廃棄物を除く）

(単位：千t/年)

業種	処理状況										総括											
	自社処理					委託処理					排出量	減量化量	再生利用量	最終処分量								
	発生量	有価物量	直接再生 利用量	直接最終 処分量	中間処理 中間処理量	減量化量	中間処理 後の自己 利用・売 却量	中間処理 後の自己 最終処分 量	委託処理量	委託中間処理量					残存量	再生利用量	最終処分 量					
											委託処理量	減量化量	再生利用量	最終処分 量								
合計	5,947 (100.0%)	301 (5.1%)	56 (0.9%)	87 (1.5%)	3,118 (52.4%)	2,877 (48.4%)	241 (4.1%)	74 (1.2%)	66 (1.1%)	2,482 (41.7%)	2,261 (38.0%)	154 (2.6%)	2,107 (35.4%)	2,059 (34.6%)	51 (0.9%)	202 (3.4%)	5,646 (94.9%)	3,051 (51.3%)	2,189 (36.8%)	406 (6.8%)		
農業・林業																						
漁業																						
建設業	734	0	0	1	55	1	54	53		678	647	55	592	578	14	19	734	68	632	33		
製造業計	2,569	26	22	0	2,246	2,114	132	21	66	316	275	77	198	188	14	34	2,544	2,198	231	114		
食品	15				9	9	1			7	6	1	5	5	0	1	15	10	5	1		
飲料・飼料	4									4	1	0	1	1	0	0	4	3	1	0		
繊維	0									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
木材										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
家具										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
パルプ・紙	1,396	4			1,368	1,334	33	3	0	51	49	12	37	36	1	2	1,392	1,350	39	3		
印刷	19	6	1		7	4	2	2		5	5	1	4	4	0	7	13	6	7	0		
化学	749	0	16	0	682	615	67		64	52	48	28	20	18	3	4	748	642	34	72		
石油・石炭	0									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
プラスチック	1									1	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0		
ゴム										1	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0		
皮革	66				12	9	3	1	0	55	40	5	35	34	4	15	66	12	35	19		
窯業・土石	10									10	9	2	7	7	0	1	10	2	7	2		
鉄鋼	63				53	51	2	0		12	5	3	2	2	0	7	63	54	2	8		
非鉄金属	17	3			11	11	0	0		3	3	1	1	1	0	2	14	12	1	2		
金属																						
はん用機器																						
生産用機器	3	0								3	3	2	0	0	0	0	3	2	0	0		
業務用機器	44	1	0	0	30	28	2	0	1	13	10	8	1	1	0	1	42	38	2	3		
電子部品	52				42	40	2			12	11	8	3	3	0	1	52	48	3	1		
電気機器	13	0			12	12	0	0		1	1	0	1	1	0	1	12	11	1	0		
情報通信機器	117	10	4		20	2	18	14		87	85	5	79	75	4	1	108	9	94	5		
輸送用機器	0									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他製造業	2,640	276	33	86	817	762	55	0		1,485	1,336	20	1,316	1,292	23	148	2,364	782	1,325	256		
電気・ガス・水道業	1,808	276	33	86	3	2	0			1,411	1,282	3	1,279	1,278	0	129	1,533	5	1,312	216		
ガス業																						
熱供給業										6	2		2			4	51	45		6		
上水道業	51				48	45	3															
工業用水道業																						
下水道業	780				766	715	51	0		68	52	17	35	14	20	15	780	732	14	35		
情報通信業																						
運輸・郵便業	1									1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1		
卸・小売業																						
金融・保険業																						
不動産業・物品賃貸業																						
専門サービス業																						
宿泊業・飲食サービス業																						
生活サービス業	1				0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		
教育・学習支援業																						
医療・福祉業	2				0	0	0			2	2	1	0	0	0	0	2	2	0	0		
複合サービス業																						
公務																						

第5章 産業廃棄物の処理状況

5.1 再生利用状況

1 再生利用状況

排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量は、表 5-1 及び図 5-1 のとおりであり、種類別（再生利用時点の種類）にみると、がれき類が 1,635 千トン（44%）と最も多く占め、以下、ばいじんが 1,242 千トン（34%）、燃え殻が 184 千トン（5%）、汚泥が 173 千トン（5%）となっている。

業種別にみると、建設業が 1,865 千トン（51%）と最も多く占め、以下、電気・ガス・水道業が 1,357 千トン（37%）、製造業が 288 千トン（8%）等となっている。

表 5-1 排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量

（単位：千t/年）

業種 再生利用 時点の種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・郵便業	卸・小売業	医療・福祉業	サービス業	その他の業種
合計	3,677 (100%)	66 (2%)	1,865 (51%)	288 (8%)	1,357 (37%)	9 (0%)	7 (0%)	2 (0%)	66 (2%)	17 (0%)
燃え殻	184 (5%)	0	2	69	105	0	0	0	6	2
汚泥	173 (5%)	66	33	41	17	0	1	1	14	1
廃油	12 (0%)		0	5	0	1	0	0	5	0
廃酸	2 (0%)		0	2				0	0	0
廃アルカリ	1 (0%)		0	0		0	0	0	0	0
廃プラスチック類	41 (1%)	0	13	10	0	1	3	0	14	1
紙くず	4 (0%)		2	1						0
木くず	149 (4%)		147	2		0	0	0	0	0
繊維くず	1 (0%)		1							
動植物性残さ	15 (0%)			15						
ゴムくず										
金属くず	26 (1%)		11	6	0	0	0	0	7	1
ガラス陶磁器くず	114 (3%)	0	18	61	4	6	2	0	17	5
鉱さい	65 (2%)		0	38	25				1	0
がれき類	1,635 (44%)		1,634	0					0	0
ばいじん	1,242 (34%)		0	36	1,205	1			0	0
動物のふん尿	7 (0%)									7
その他	8 (0%)		4	1	0	0	0	0	2	0

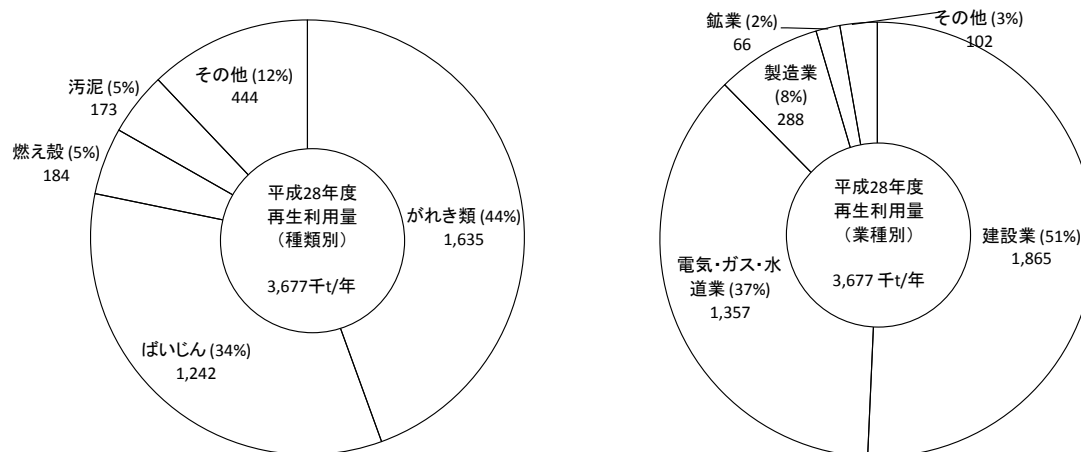


図 5-1 排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量

2 産業廃棄物の資源化状況の解析

産業廃棄物の処分業者及び収集運搬実績データから処理状況を整理し産業廃棄物の種類ごとの資源化状況を整理した結果は、**図 5-2** 及び**表 5-2** のとおりである。

なお、ここでは、県内の中間処理業者で中間処理（県外搬入物を含む）、及び県外の中間処理業者で資源化されたものを以下の用途別に集計した。

資源化用途別にみると、建設資材が**1,893**千トンで最も多く、以下、セメント原料が**1,223**千トン、工業用原料等が**846**千トン、堆肥化が**58**千トン、燃料が**31**千トンとなっている。

①工業用原料等（846千トン）

汚泥、廃酸、廃プラスチック、木くず、鉱さい、ばいじん等を工業用原料として再使用又は、再生用途が多様で特定の用途に区分ができないもの及び詳細な用途が不明なもの。

②建設資材（1,893千トン）

がれき類等を破碎、選別等し、建設資材として資源化。

③セメント原料（1,223千トン）

セメント工場で原（燃）料として資源化。主に火力発電所のばいじん。

④堆肥化（58千トン）

堆肥として資源化。主に有機性汚泥や動植物性残さ。

⑤燃料（31千トン）

破碎・選別・圧縮等により燃料として資源化。主に廃プラスチック、木くず、廃油。

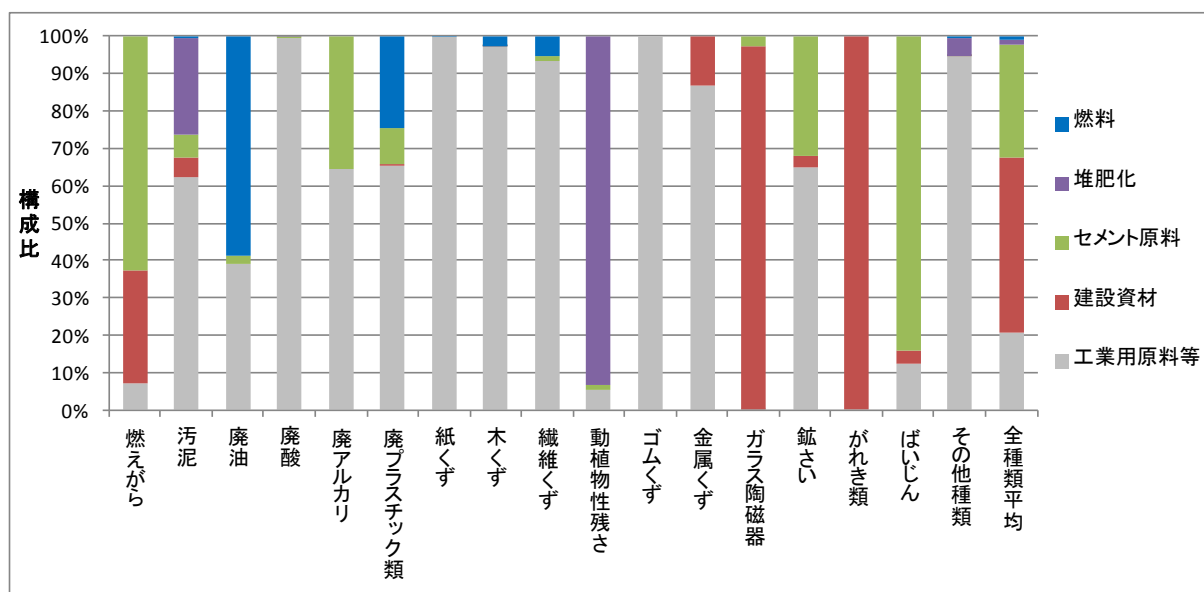


図 5-2 産業廃棄物の資源化の状況

表 5-2 種類別及び資源化用途別の資源化状況

(千t/年)

用途 種類	工業用 原料等	建設資材	セメント 原料	堆肥化	燃料	その他	計
燃えがら	7	32	65				104
汚泥	77	6	8	32	0		124
廃油	5		0		7		12
廃酸	51		0	0			51
廃アルカリ	1		0				1
廃プラスチック類	39	0	6		15		60
紙くず	3				0		3
木くず	270	0	0	0	8		278
繊維くず	1		0		0		1
動植物性残さ	1		0	19			20
ゴムくず	0						0
金属くず	21	3					25
ガラス陶磁器	0	93	3				95
鋳さい	80	4	39				123
がれき類		1,710					1,710
ばいじん	163	45	1,102				1,311
その他種類	127	0	0	7	1		134
計	846	1,893	1,223	58	31		4,052

5.2 最終処分の状況

1 最終処分量

種類別及び業種別の産業廃棄物の最終処分量は、表 5-3 及び図 5-3 のとおりである。

種類別（処分時点の種類）にみると、ばいじんが 161 千トン（34%）と最も多く、以下、汚泥が 134 千トン（28%）、燃え殻が 58 千トン（12%）、がれき類が 40 千トン（8%）となっている。

業種別にみると、電気・ガス・水道業が 226 千トン（48%）と最も多く、以下、建設業が 115 千トン（25%）、製造業が 97 千トン（20%）等となっている。

表 5-3 産業廃棄物の種類別、業種別の最終処分量

(単位：千t/年)

業種 処分 時点の種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・郵便業	卸・小売業	医療・福祉業	サービス業	その他の業種
合計	471 (100%)	0 (0%)	115 (25%)	97 (20%)	226 (48%)	1 (0%)	1 (0%)	2 (0%)	27 (6%)	3 (1%)
燃え殻	58 (12%)	0	10	4	38	0	0	1	4	1
汚泥	134 (28%)		24	75	25	0	0	0	9	1
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類	29 (6%)	0	15	7	0	0	0	0	6	0
紙くず	0 (0%)		0	0						0
木くず	1 (0%)		1	0					0	0
繊維くず	0 (0%)		0							
動植物性残さ	1 (0%)			1						
ゴムくず	0 (0%)			0						
金属くず	1 (0%)		0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	25 (5%)		13	5	3	0	0	0	3	0
鉱さい	5 (1%)		0	3	0		0		1	0
がれき類	40 (8%)		40	0						
ばいじん	161 (34%)		0	0	161	0		0	0	0
動物のふん尿										
その他	16 (3%)	0	11	0	0	0	0	0	3	0

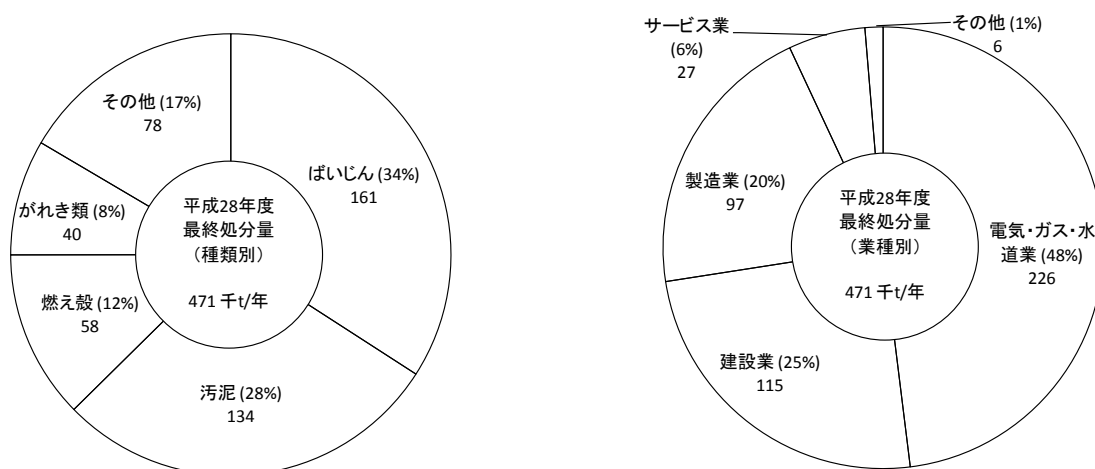


図 5-3 産業廃棄物の種類別、業種別の最終処分量

2 最終処分場残余年数の推計

県内の産業廃棄物処理業者から報告のあった最終処分場の残余容量と処分実績量の関係から、平成29年3月31日時点の最終処分場の残余年数を推計した結果は、以下のとおりである。

なお、残余年数の推計においては、自社処分場及び特定の事業場から排出された産業廃棄物のみを受け入れている最終処分場は除外した。

(1) 最終処分場の稼働状況

平成29年3月31日時点における最終処分場の稼働状況は、表5-4のとおりである。

最終処分場の残余容量がある施設は21施設であり、管理型が9施設、安定型が12施設となっている。

これらの残余容量は、3,780千m³となっており、管理型が2,030千m³、安定型が1,750千m³となっている。

表 5-4 最終処分場の稼働状況（平成29年3月31日時点）

	計	県北地区	郡山市を除く 県中地区	県南地区	会津地区	南会津地区	相双地区	郡山市	いわき市
施設数 計	21	6	2		2		1	1	9
管理型	9	3	1		2			1	2
安定型	12	3	1				1		7
残余容量 計(千m ³)	3,779.8	1,675.4	250.8		397.0		31.9	23.6	1,401.1
管理型	2,029.5	1,511.9	26.3		397.0			23.6	70.7
安定型	1,750.3	163.5	224.4				31.9		1,330.5

(2) 最終処分場の残余年数の推計

平成29年3月31日時点の残余容量と当該最終処分場の平成28年度処分実績量は図5-4のとおりである。各最終処分場の許可上の容量から算出される、平成29年3月31日現在の残余容量を用いて計算した。

既存の最終処分場での平成28年度処分実績量と同等量が今後も最終処分されるものと仮定し残余年数を推計すると、管理型で9.3年、安定型で16.2年となっている。

なお、ここでの埋立廃棄物の比重は、1t/m³と設定している。

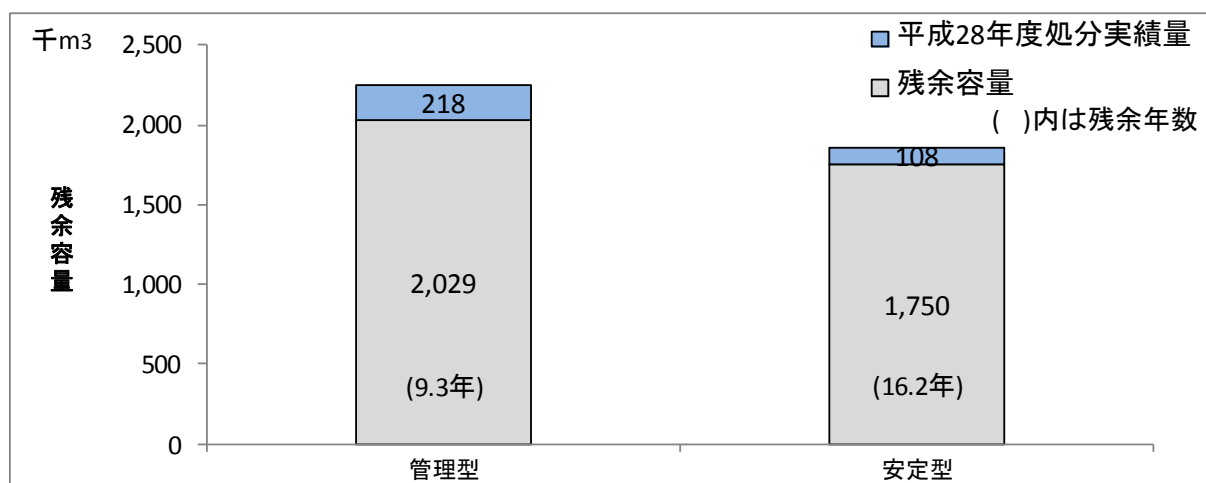


図 5-4 最終処分場の残余年数の推計（実績量基準）

また、地区別の残余年数をみると図 5-5 のとおりである。残余年数は地区ごとに偏りがみられる。

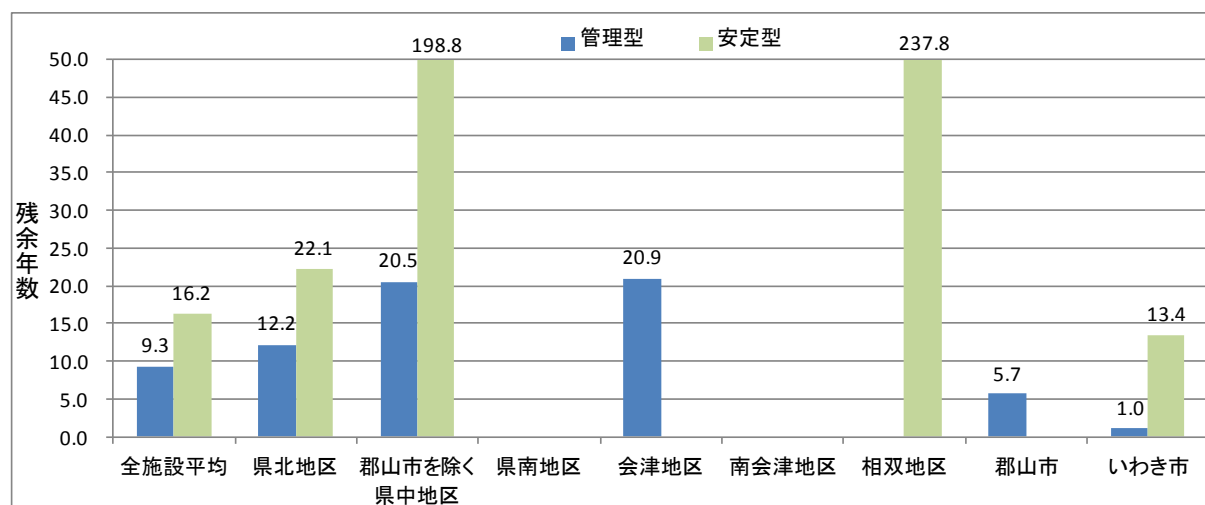


図 5-5 地区別の最終処分場の残余年数の推定 (平成 28 年度の最終処分実績を基準)

福島県廃棄物処理計画 (平成 27 年 3 月) では、平成 24 年度の最終処分率 12% を平成 32 年度に 8% 以下とする削減目標を設定している。

平成 28 年度の最終処分率は 6% と目標を達成しており、平成 28 年度以降の最終処分量が平成 28 年度と同等量で推移すると仮定すると、既存の最終処分場の残余年数は前述のとおり管理型で 9.3 年、安定型で約 16.2 年と推計される。

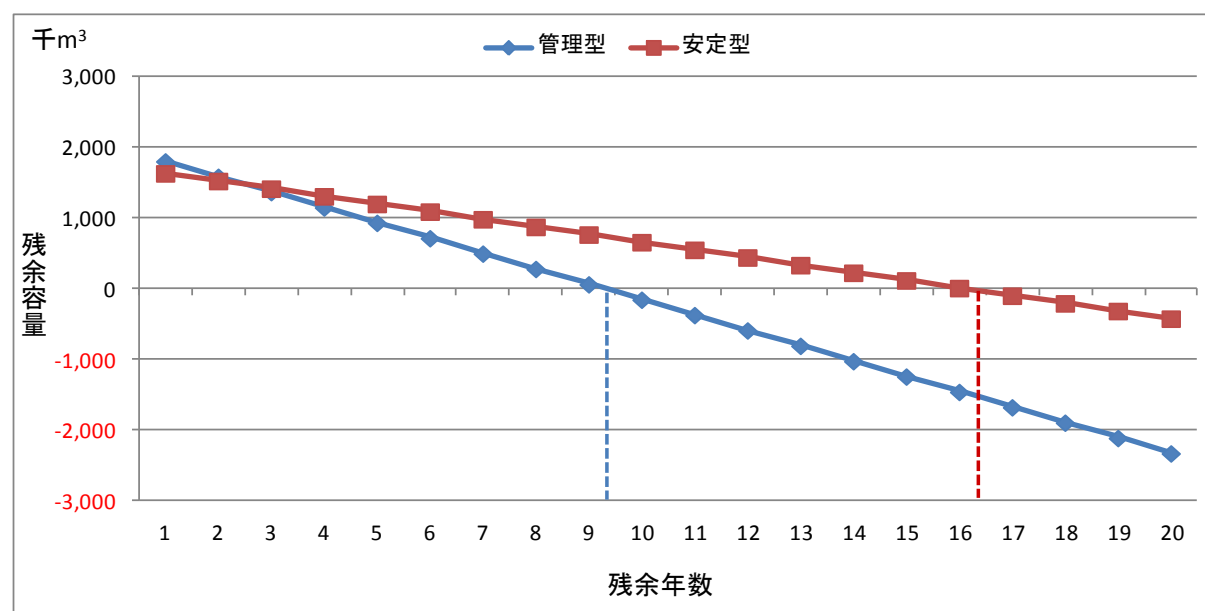


図 5-6 最終処分場の残余年数の推計 (目標値基準)

第6章 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の解析

産業廃棄物管理交付等状況報告(廃棄物処理法第12条の3第7項)について、解析を行った結果は、以下のとおりである。

6.1 データ整備等の内容

1 電子データベース化

産業廃棄物管理票交付等状況報告書について、以下の電子データベース化を行った。

なお、電子マニフェスト登録等状況報告書のデータについても、共通項目のレイアウトに変更し、情報を統合した。

<p><台帳> ①報告者氏名 ②事業場の名称 ③事業場の所在地 ④業種コード</p> <p><廃棄物データ> ⑤行番号 ⑥産業廃棄物の種類コード ⑦排出量 ⑧管理票の交付枚数 ⑨運搬受託者の許可番号 ⑩運搬受託者の氏名又は名称 ⑪運搬先のコード ⑫処分受託者の許可番号 ⑬処分コード ⑭処分受託者の氏名又は名称 ⑮処分場所のコード</p>
--

2 各種のデータ整備

6.1.1 で作成した統合データに対して、区間委託の制御、単位、種類コード、地域コード等の確認、整備を行った。

3 報告者及び事業場の整理

本解析においては、報告者台帳作成に当たって同一事業場等のマッチング作業を行うために、3つの項目から報告者を識別するコード(ID)化を行った。

本報告書で用いた用語		報告者及び事業場の整理
報告書件数		受理した報告書の件数。ただし、電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく報告書については、電子マニフェスト交付単位(1件)で電子化されているため、報告者名称、種類、事業場名称、事業場住所が同一のものは1報告書として集計した。
報告者	報告企業(ID1)	報告者名称から「本店、支店、営業所」等の名称を除外し、マッチングしたもの。なお、(株)、(有)等の名称は除外しマッチングした。
	報告事業者(ID2)	ID1を更に、「本店、支店、営業所」等の名称、「報告者の住所(市町村)」でマッチングしたもの
	報告事業場(ID3)	ID2を更に、事業場名称、「事業場の住所(市町村)」でマッチングしたもの

6.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

1 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況は、表 6-1、表 6-2 のとおりである。

平成 28 年度実績として福島県(郡山市、いわき市を含む)に報告された産業廃棄物管理票交付状況報告書に基づく報告件数は 8,198 件、産業廃棄物管理票交付枚数(以下、「交付枚数」という)は 475,200 枚、排出量は 2,265 千トンとなっている。また、電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく報告件数は 8,837 件、交付枚数 235,216 枚、排出量は 2,128 千トンとなっており、両者のあわせた(以下、「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」という)報告件数が 17,035 件、交付枚数が 710,416 枚、排出量が 4,393 千トンとなっている。

また、本解析にて整理した報告者及び事業場数では、報告企業数(ID1)が 6,575 件、報告事業者数(ID2)が 6,838 件、報告事業場数が 16,617 件であった。(表 6-1)

電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく交付枚数は増加している。(表 6-2)

表 6-1 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

		報告書件数	報告企業数 (ID1)	報告事業者数 (ID2)	報告事業場数 (ID3)	産業廃棄物 管理票 交付枚数	排出量 (t)
福島県	産業廃棄物管理票交付状況報告書	5,279	2,788	2,938	5,177	302,371	1,526,669
	電子マニフェスト登録等状況報告書	5,441	1,081	1,122	5,246	152,807	1,529,841
	(2市除く)	10,720	3,869	4,060	10,423	455,178	3,056,510
郡山市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,375	936	956	1,354	73,367	205,875
	電子マニフェスト登録等状況報告書	1,729	457	464	1,694	31,707	58,207
		3,104	1,393	1,420	3,048	105,074	264,082
いわき市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,544	934	970	1,540	99,462	532,452
	電子マニフェスト登録等状況報告書	1,667	379	388	1,606	50,702	539,669
		3,211	1,313	1,358	3,146	150,164	1,072,121
合計	産業廃棄物管理票交付状況報告書	8,198	4,658	4,864	8,071	475,200	2,264,996
	電子マニフェスト登録等状況報告書	8,837	1,917	1,974	8,546	235,216	2,127,716
		17,035	6,575	6,838	16,617	710,416	4,392,713

表 6-2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況の推移

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
交付枚数	産業廃棄物管理票交付状況報告書	472,736	491,927	480,671	473,438	464,617	475,200
	電子マニフェスト登録等状況報告書	76,803	107,276	140,757	184,102	222,392	235,216
	計	549,539	599,203	621,428	657,540	687,009	710,416
排出量 (千t)	産業廃棄物管理票交付状況報告書	2,483	2,685	4,272	3,488	2,233	2,265
	電子マニフェスト登録等状況報告書	326	1,157	1,233	1,719	2,202	2,128
	計	2,809	3,842	5,505	5,207	4,435	4,393

2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出状況

種類別の産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数は、表 6-3、表 6-4 のとおりである。

産業廃棄物の種類別に排出量をみると、ばいじんが 1,774 千トンで最も多く、以下、がれき類が 1,298 千トン、汚泥が 359 千トン、木くずが 200 千トン等となっている。(表 6-3)

業種別にみると、電気・ガス・水道業が 1,956 千トンで最も多く、以下、建設業が 1,472 千トン、製造業 635 千トン等となっている。(表 6-4)

なお、産業廃棄物管理票交付等状況報告書データには、電気業から排出されるばいじんのうち、自社処分場へ運搬された運搬実績及び船積貯槽へ運搬された運搬実績が含まれている。

また、県内の中間処理業者における中間処理後の残さ物の他社への委託処理（2次マニフェスト）による交付分が含まれている。

表 6-3 種類別産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数

	排出量(千t)				交付枚数			
	計	福島県 (2市除く)	郡山市	いわき市	計	福島県 (2市除く)	郡山市	いわき市
計	4,393	3,057	264	1,072	710,416	455,178	105,074	150,164
燃え殻	141	87	2	52	8,868	5,076	580	3,212
汚泥	359	163	39	158	41,014	22,342	5,247	13,425
廃油	52	29	5	17	38,663	23,675	7,865	7,123
廃酸	13	7	2	5	4,899	2,993	865	1,041
廃アルカリ	36	25	3	8	7,556	5,133	1,132	1,291
廃プラスチック類	166	127	17	22	137,872	90,828	23,363	23,681
紙くず	6	3	1	1	11,941	7,007	2,667	2,267
木くず	200	138	12	50	64,319	39,518	7,840	16,961
繊維くず	4	2	0	1	2,133	1,155	449	529
動植物性残さ	12	8	4	0	4,875	2,431	2,227	217
動植物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	62	46	2	14
金属くず	24	14	5	5	22,971	11,817	6,382	4,772
ガラス・陶磁器くず	68	44	8	16	41,516	27,497	6,685	7,334
鋳さい	176	136	3	37	13,071	10,106	295	2,670
がれき類	1,298	905	157	236	219,772	153,571	27,714	38,487
動物のふん尿	2	2	0	0	594	594	0	0
動物の死体	0	0	0	0	77	61	4	12
ばいじん	1,774	1,321	0	452	24,220	9,865	4	14,351
コンクリート固化物	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	63	45	6	11	65,980	41,461	11,753	12,766
感染性廃棄物	6	4	1	1	27,632	17,485	5,648	4,499
混合廃棄物等	56	41	5	10	38,348	23,976	6,105	8,267

表 6-4 業種別産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数

	排出量(千t)				交付枚数			
	計	福島県 (2市除く)	郡山市	いわき市	計	福島県 (2市除く)	郡山市	いわき市
計	4,393	3,057	264	1,072	710,416	455,178	105,074	150,164
農業・林業	3	2	0	1	884	708	4	172
漁業								
鉱業	2	2	0	0	953	798	142	13
建設業	1,472	1,013	167	292	343,695	231,195	46,766	65,734
製造業	635	369	39	227	115,273	72,048	13,946	29,279
電気・ガス・水道業	1,956	1,451	18	487	39,588	20,527	1,986	17,075
情報通信業	5	3	1	1	2,344	1,485	417	442
運輸・郵便業	8	6	1	1	5,622	2,780	2,031	811
卸・小売業	23	13	4	7	73,046	47,742	11,432	13,872
金融・保険業	0	0	0	0	99	76	18	5
不動産業・物品賃貸業	5	4	1	0	3,007	1,502	1,192	313
専門サービス業	1	0	0	0	1,336	695	414	227
宿泊業・飲食サービス業	1	1	0	0	8,246	5,052	1,784	1,410
生活関連サービス業	1	1	0	0	1,212	758	161	293
教育・学習支援業	2	1	1	0	1,273	955	159	159
医療・福祉業	8	5	1	2	55,258	36,316	11,137	7,805
複合サービス業	1	1	0	0	1,573	983	585	5
サービス業	214	130	30	53	53,365	28,439	12,571	12,355
公務	1	1	0	0	753	438	121	194
その他	54	54	0		2,889	2,681	208	

6.3 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストの作成

産業廃棄物の処分業者、収集運搬業者の平成 28 年度実績データから、委託者（排出事業者）を整理し、以下のとおり「産業廃棄物管理交付等状況報告」（廃棄物処理法第 12 条の 3 第 6 項）の対象となる事業者の台帳を作成した。

また、産業廃棄物管理交付等状況報告書で作成した台帳同様(6.1)に、3 つの項目から排出者を識別するコード(ID)化を行った。

表 6-5 排出者及び事業場の整理方法

本報告書で用いた用語		排出者及び事業場の整理
排出者	排出企業(IDa)	委託者名称から「本店、支店、営業所」等の名称を除外し、マッチングしたもの。なお、(株)、(有)等の名称は除外しマッチングした。また、郡山市、いわき市は、単独で整理した。
	排出事業者(IDb)	IDa を更に、「本店、支店、営業所」等の名称でマッチングしたもの
	排出事業場(IDc)	IDb を更に、「委託者の住所(市町村)」でマッチングしたもの

このマッチングの作業により、産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者数は 34,538 件であり地域別の対象者数は、表 6-6 のとおりである。なお、このうち産業廃棄物の処分業者及び収集運搬実績データにおいて、詳細な住所が記載されていないものが 448 件あった。

表 6-6 産業廃棄物の処分業者・収集運搬実績から整理した産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者数

	排出企業数 (IDa)	排出事業者数 (IDb)	排出事業場数 (IDc)
福島県(2市除く)	15,944	17,425	22,957
県北地区			7,699
県中地区			3,488
県南地区			3,328
会津地区			4,366
南会津地区			542
相双地区			3,086
詳細不明			448
郡山市	4,943	5,385	5,385
いわき市	5,682	6,196	6,196
合計	26,569	29,006	34,538

*1:IDa、IDbは、事業場住所を考慮しないため地区別の内訳は非表示とした。

*2:郡山市、いわき市はIDaの整理時点で同市を分離しているため、IDbとIDcは同数となる。

作成した産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者は、別添のCD-ROMに格納した。なお、この報告対象者リストのイメージは、表6-7のとおりであり、対象者の地区、市町村コード、名称で構成される。

表 6-7 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストのイメージ

(IDa)	(IDb)	(IDc)	地区	市町村CD	排出事業場名称
500001	01	001	T1: 県北	071111	〇〇〇〇(株)〇〇工場
500001	02	001	T1: 県北	071111	〇〇〇〇(株)△△工場

参考データ

統計表1 産業廃棄物の排出量〔平成28年度〕

(単位：千t/年)

業種	種類	産業廃棄物の排出量													その他											
		合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃液	廃アルカリ	プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	コムくず	金属くず	ガラス製機器くず	広さい	がれき類	ばいじん	13号廃棄物	動物のふん尿	動物の死体	感染性廃棄物	混合廃棄物	その他	
業種	種類	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃液	廃アルカリ	プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	コムくず	金属くず	ガラス製機器くず	広さい	がれき類	ばいじん	13号廃棄物	動物のふん尿	動物の死体	感染性廃棄物	混合廃棄物	その他	
合計		7,332	142	3,313	34	23	81	127	5	168	1	16		0	27	140	137	1,675	1,403		7	1	32	4	23	5
農業、林業		8	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0
林業		8	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0
漁業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漁業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
製造業		197	0	197	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
製造業		2,019	7	75	1	0	1	30	3	165	1	16		0	11	32	2	1,675	0	0	0	0	15	0	15	0
製造業計		2,566	6	2,155	21	18	67	67	2	3	3	15		0	7	67	99	0	36	0	0	0	3	0	0	2
食品		28	0	11	0	1	0	1	0	0	0	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飲料・調味料		6	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木材		2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家具		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙		1,376	3	1,309	0	0	0	37	1	1	0	0		0	0	0	2	0	23	0	0	0	0	0	0	0
印刷		12	1	0	2	0	0	8	1	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
化学		737	0	698	10	3	20	1	0	0	0	0		0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1
石油・石炭		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プラスチック		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴム		7	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮革		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
窯業・土石		71	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	55	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
鉄鋼		14	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0		0	0	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非鉄金属		57	0	51	0	1	4	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属		15	0	12	0	1	0	0	0	0	0	0		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ほこり用機器		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生糸用機器		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
糸用機器		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
糸用機器		40	0	18	2	8	12	1	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電子部品		45	0	28	0	2	13	2	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気機器		12	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信機器		98	0	4	1	0	1	1	0	0	0	0		4	0	85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
輸送用機器		41	1	5	0	2	9	0	0	0	0	0		0	1	5	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0
その他製造業		2,369	127	836	0	0	0	0	0	0	0	0		0	7	33	33	1,365	1,365	0	0	0	0	0	0	0
電気・ガス・水道業		1,564	126	24	0	0	0	0	0	0	0	0		0	6	33	33	1,365	1,365	0	0	0	0	0	0	0
電気業																										
ガス業																										
除染事業																										
建設業		52	0	52	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上水道業																										
工業用水道業																										
下水道業		762	1	760	0	0	0	0	0	0	0	0		0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信業		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸業、郵便業		11	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0		0	0	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
卸売業、小売業		8	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0		0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金融業、保険業		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産業、賃貸業		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門サービス業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宿泊業、飲食業		2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活サービス業		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育、学習支援業		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療、福祉業		10	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0
複合サービス業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス業		128	2	37	9	5	13	23	0	0	0	0		7	19	3	0	0	0	0	1	9	0	8	1	
公務		6	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	

統計表2 産業廃棄物の発生及び処理状況〔種類別〕〔平成28年度〕(その1)

(単位:千t/年)

区分	発生量 (A) (B+Z1+C)	有償物量 (B)	保管量 (Z1)	自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量		自己最終処分量					
				排出量 (D+G)				自己中間処理後の処理内訳				再生利用		(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(加処理先地域の内訳)			
				うち焼却 量	汚泥脱水 減量	(E)	(E1)	自己最終 処分量	(E2)	(E3)	(Z2)	(G)	(G1)			(G2)	(G3)	県内	県外
														(D)	(C)				
種類	7,634	301		7,332	3,433	227	2,911	418	250	66	102		3,900	56	88	3,756	4,012	154	154
燃え殻	252	111		142	1	1		0					141		11	130	141	11	11
汚泥	3,453	140		3,313	3,145	142	2,911	226	66	66	95		168	16	7	145	313	73	73
廃油	36	2		34	0	0							34	2		32	32		
廃酸	24	1		23	8	0		0					15	0		14	15		
廃アルカリ	81	0		81	44	10		1	0				37	0		37	37		
廃プラスチック類	130	3		127	47	44		7	5				80	0	0	80	81	0	0
紙くず	9	4		5	2	1		1	1				3			3	3		
木くず	168	0		168	9	2		7	7				159			159	160		
繊維くず	1			1	0	0		0	0				1			1	1		
動植物性残さ	16	0		16									16			16	16		
動物系固形不燃物																			
ゴムくず	0			0									0			0	0		
金属くず	37	9		27	1			1	1				26	4	0	22	22	0	0
ガラス陶磁器くず	140	0		140	5	0		5	4	0			135	1	0	134	135	1	1
珪さい	142	5		137	18	0		18	14				118			118	122		
がれき類	1,675			1,675	125			125	124				1,551		1	1,550	1,551	1	1
ばいじん	1,427	24		1,403	26	26		26	26				1,377	33	68	1,275	1,344	68	68
13号廃棄物																			
動物のふん尿	7			7									7			7	7		
動物の死体	1			1									1			1	1		
その他	32			32	1	1		0	0				31	0	0	31	31	0	0
感染性廃棄物	4			4	0	0		0	0				4			4	4		
混合廃棄物	28			28	1	1		0	0				27	0	0	27	27	0	0

統計表2 産業廃棄物の発生及び処理状況〔種類別〕〔平成28年度〕〔その2〕

区分	委託処理量											委託中間処理量			委託中間処理後量				再生利用量		最終処分量	
	(K) (O+L)	委託処理量		委託処理量の内訳		委託中間処理量		委託中間処理量の内訳		委託中間処理後量		委託中間処理後量の内訳		(R) (E+G+M+I)	(O) (H+O+M2)	(G3)						
		(O)		(L)		(M)		(Z3)		(M1)		(M2)										
		(O)		(L)		(M)		(Z3)		(M1)		(M2)										
		(O)		(L)		(M)		(Z3)		(M1)		(M2)										
(O)		(L)		(M)		(Z3)		(M1)		(M2)		(O)		(G3)								
合計	3,858	234	232	2	3,624	2,070	75	1,554	1,320	3,455	3,371	84	3,677	471	154	318						
燃え殻	130	33	33		97	2	0	95	92	96	96	0	96	45	11	34						
汚泥	240	52	51	1	188	94	21	94	26	117	99	18	181	142	73	69						
廃油	32				32	13	9	19	10	12	12	1	13	1		1						
廃酸	15				15	3	1	11	2	2	2	0	2	0		0						
廃アルカリ	37				37	11	9	26	9	2	1	1	1	1		1						
廃プラスチック類	81	9	9	0	72	49	9	23	6	62	41	21	46	30	0	30						
紙くず	3	0	0		3	3	0	1	0	3	2	1	4	1		1						
木くず	160	0	0	0	159	141	7	18	8	145	142	3	149	3		3						
繊維くず	1				1	1	0	0	0	1	0	0	1	0		0						
動植物性残さ	16	1	1		16	8	0	7	0	16	16	0	16	1		1						
動物系固形不要物																						
ゴムくず	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0						
金属くず	22	1	1		21	19	0	2	0	21	20	0	26	1	0	1						
ガラス陶磁器くず	135	14	14	0	120	111	0	10	1	120	110	10	115	25	1	24						
鉱さい	122	5	5		118	39	8	79	59	118	117	0	132	5		5						
がれき類	1,550	26	25	0	1,524	1,515	0	9	0	1,524	1,510	14	1,635	41	1	39						
ばいじん	1,276	93	93		1,183	29	0	1,154	1,108	1,183	1,183	0	1,242	161	68	93						
13号廃棄物																						
動物のふん尿	7				7	7				7	7		7									
動物の死体	1				1	0	0	1	0	1	1	0	1	0		0						
その他	31	1	1	0	30	25	8	5	0	26	10	15	10	16	0	16						
感染性廃棄物	4				4	3	3	1	0	1	0	1	0	1		1						
混合廃棄物	27	1	1	0	26	21	5	5	0	25	10	14	10	15	0	15						

(単位:千t/年)

統計表3 産業廃棄物の発生及び処理状況[業種別][平成28年度](その1)

(単位:千t/年)

業種	発生量		有償物量		保管量		排出量		自己中間処理量				自己未処理量				搬出量		自己最終処分量	
	(A) (B+Z1+C)	(B)	(Z1)	(C) (D+G)	(D)	(T1)	(自己中間処理後量)		(自己中間処理後の処理内訳)		(G)	(自己未処理の処理内訳)		(H) (+K+J)	(I) (E2+G2)	(J)	(K)	(L)		
							(E)	(E1)	(E2)	(E3)		(Z2)	(G1)						(G2)	(G3)
うち焼却量	汚泥脱水減量	うち焼却量	汚泥脱水減量	うち焼却量	汚泥脱水減量	うち焼却量	汚泥脱水減量	うち焼却量	汚泥脱水減量	うち焼却量	汚泥脱水減量	うち焼却量	汚泥脱水減量	うち焼却量	汚泥脱水減量	うち焼却量	汚泥脱水減量			
合計	7,634	301		7,332	3,433	2,911	418	250	66	102	3,900	56	88	3,756	4,012	154	154			
農業・林業	8			8							8			8						
漁業	0			0							0			0						
鉱業	197			197	197	131	66	66			0			0						
建設業	2,019	0		2,019	139	2	137	135	2		1,880	0	1	1,878	1,881	1	1			
製造業	2,592	26		2,566	2,257	2,024	138	26	66	46	309	22	0	286	398	66	66			
電気・ガス・水道業	2,645	276		2,369	839	756	77	22	55		1,530	33	86	1,411	1,551	86	86			
情報通信業	3			3							3			3						
運輸・郵便業	11			11	0		0	0			11			11						
卸・小売業	8			8							8			8						
金融・保険業	2			2							2			2						
不動産業・物品賃貸業	1			1							1			1						
学術研究・技術サービス業	0			0	0		0	0			0			0						
宿泊業・飲食サービス業	2			2							2			2						
生活関連サービス業	1			1	0		0		0		1			1						
教育・学習支援業	2			2							2			2						
医療・福祉業	10			10	0		0		0		10			10						
複合サービス業	0			0							0			0						
サービス業	128			128	1		0	0	0		127		0	127	127	0	0			
公務	6			6							6		0	6		0	0			

統計表3 産業廃棄物の発生及び処理状況〔業種別〕〔平成28年度〕(その2)

(単位:千t/年)

業種	区分		委託中間処理量										再生利用量		最終処分量	
	(K) (O+L)	(O)	(処理先地域の内部)		(委託中間処理量)		(処理先地域の内部)		(委託中間処理後量)		(R) (E+G+M1)	(Q) (I+O+M2)	(処理主体の内訳)			
			県内	県外	(L)	(M)	うち焼却量	うち焼却量	(Z3)	(M1)			(M2)	事業者	(Q3)	
																うち焼却量
委託直接最終処分量	委託処理量の内部	委託中間処理量	委託中間処理量	委託中間処理量	委託中間処理量	委託中間処理量	委託中間処理量	委託中間処理量	委託中間処理量	委託中間処理量	委託中間処理量	委託中間処理量	委託中間処理量	委託中間処理量		
合計	3,858	234	232	2	3,624	2,070	75	1,554	1,320	3,455	3,371	84	471	154	318	
農業・林業	8	0	0	0	8	8	0	0	0	7	7	0	7	0	0	
漁業	0				0	0				0	0					
鉱業	0				0	0				0	0					
建設業	1,880	63	62	1	1,817	1,765	13	51	10	1,780	1,729	51	115	1	114	
製造業	332	20	20	0	312	128	31	183	83	249	239	10	288	66	30	
電気・ガス・水道業	1,466	137	137		1,329	75	7	1,254	1,216	1,305	1,302	4	226	86	141	
情報通信業	3	0	0	0	3	3	0	0	0	3	3	0	3	0	0	
運輸・郵便業	11	0	0	0	10	7	0	3	2	10	9	1	9	1	1	
卸・小売業	8	0	0	0	8	4	0	4	0	7	7	0	7	1	1	
金融・保険業	2	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1		1	
不動産業・物品賃貸業	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	
学術研究・技術サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
宿泊業・飲食サービス業	2	0	0	0	2	1	0	1	0	2	1	0	1	0	0	
生活関連サービス業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
教育・学習支援業	2	0	0	0	2	2	0	0	0	2	1	0	1	0	0	
医療・福祉業	10	0	0	0	10	5	4	5	0	3	2	1	2	2	2	
複合サービス業	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
サービス業	127	12	12	0	115	66	16	49	6	80	66	14	27	0	26	
公務	6	0	0	0	6	4	3	2	2	4	2	1	2	0	2	

